Multi LABELIST V5 練習マニュアル 一様々な発行方法編一 第12版

株式会社サトー

2020年9月23日

ご注意

- 本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- SATO、Multi LABELIST は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
- ・ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

ご注意	2
目次	
1:ファイル発行	5
1. ファイル発行とは	5
2. ファイル形式の設定	5
3. ファイルからの呼び出し	
知っておくと便利な機能	
1. フィルタ機能	
2:振分発行	
1. 振分発行とは	
■準備	
1. 振分定義・入力割付の設定	
■自動作成を使った項目割付について	
2. レイアウト判別	
3. 振分項目設定	
4. 振分発行	
5. 発行結果の確認	
3:自動発行	
1. 自動発行とは	
■書式	
■パラメーター覧	
■データ指定	
■動作指定	
■出力先指定	
■オプション指定	
2. ショートカットの作成	
3. 使用方法	
4:プリセット発行	
1. プリセット発行とは	
■準備	
1.プリセットデータ登録	
2. プリセット発行	
3.プリセット予約発行	
5:フォルダ監視発行	41
1. フォルダ監視発行とは	
■準備	
2. フォルダ監視の設定	
3. レイアウトのデータ指定	
 4. 出力先のデータ指定 	
知っておくと便利な機能	

	63
2. 設定値のインポート・エクスポート	64
3. ログの確認とログレベル	64
4. データのバックアップ	65
5. カットのタイミングを指定する	65
6. 複数のプリンタへ出力する	67
7. フォルダ監視の起動方法を変更する	68
 発行枚数が未指定のデータを発行する 	69
6: ODBC データ取込み	
1. ODBC データ取込みとは	
■準備	
2. ODBC ドライバの設定	71
3. ODBC 接続の設定	74
4. ODBC からの呼び出し	
知っておくと便利な機能	
1. 自動で ODBC データ呼び出しを行う	
2. ODBC 接続でデータを全件取り込む	
3. 取込むデータを加工する	

1:ファイル発行

Multi LABELIST V5 には便利な発行機能がたくさんあります。 これらの発行機能に関して、設定や発行の練習をしてみましょう。

1. ファイル発行とは

発行したいデータをあらかじめファイルで用意しておき、レイアウト発行時にファイルデータを呼び出すことで入力項目への入力をせずに発行が行える機能です。 ※ファイルの形式には固定長と可変長(区切り文字は任意に設定可能)に対応しています。

2. ファイル形式の設定

予め以下のレイアウトを作成しましょう。



「入力定義」画面に切り替え、ヘッダー部から行部に入力項目を移動し、以下の順番で 並べます。

	デ	f-	10	/)	V	ئ ر	Ē	義		100	表	Æ	ī	à																																						
													÷																													÷	÷										
ł.	••	• •	• •	•	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
t	•••			•				•	•	:		•		•		•	1					•		:	1	•		•						•		•	•	•		:	:	:		1	•								•
(I	::			1					2	2	2	2	2	2	2	2								2	2	2														2	2	2	2	2	2								
ł.		• •	• •	•	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				•	•	•	•	•	•	•	•	•				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
ł.	•••	• •	• •	•	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Ľ	::	: :		1	2.3		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						2	2	2	1	1	1						:	:	:	:	:	2	2	2	1	2	1	1	1				1	1		
	• •																																	•		•																	
ł.	••	• •	• •	·	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
E		-	-	÷	-		÷	÷	÷	÷	÷	÷	÷	÷	÷	÷	Ê	Ľ,	Ľ				1	÷	÷	÷	÷	÷	Ľ,	Ľ,	1		-		-	1	1		1	÷	÷	÷	÷	÷	÷	÷	Ľ,	Ľ	-	÷	÷	Ľ,	•
	N	ο.		1	t	Į	f,	3	1	Æ	名	1																部	運	斜	Ż															舜	ĥ	1	权	数			
			1		xx	x				x	Ø	X	x	X	X	X	X	X	Х	X	X	0	0	0	x	x	:	Х	X	X)	x	0	X	x	x	X	0	X	X	X	X	x	X	x	:	Х	X	X	X	x	(*
			2		1					2																		3																		4	•						

では、取込むファイルの情報を設定しましょう。

ML デザイン(入力定義)画面にて、「ホーム」タブの「ファイル形式」ボタンをクリックして、 下記の画面を表示してください。



 D ファイル形式設定 マーメー マーメー マーメー
ファイル名(N): …
種類(<u>T</u>): 可変長 ▼ 図 自動で設定する(<u>A</u>) 3
ファイルフォーマットイメージ:
[ヘッダ]エリア [行]エリア1行目 [行]エリア2行目 [行]エリアn行目 CR/LF
- ファイル形式 - ファイル形式(F): カンマ区切り(*.csv) ・
□ ファイルの1行目のデータを取り込まない(<u>L</u>)
括り文字
[ヘッダ]エリアの項目数(<u>日</u>): 0 (1) 個 自動設定値: 0 個
[行]エリアの1行あたりの項目数(<u>I</u>): 4 👔 個 自動設定値: 4 個
[行]エリアの行数(<u>R</u>): 1 行 自動設定値: 1 行
▼ 末尾まで取り込む(<u>0</u>)
フィールド定義(<u>D</u>)
OK キャンセル

① ファイル名の設定

参照ボタンを押して取り込むファイル名を指定します。

2 可変長/固定長

取り込むファイル形式に応じて「可変長」または「固定長」に設定します。

③ モード

「自動で設定する」を有効または無効に設定します。より詳細に設定したい場合は無効に 設定してください。

④ 可変長/固定長の詳細設定

可変長であれば、「ファイル形式」「括り文字の削除」など 固定長であれば、「レコード桁数」「文字コード」などを設定することができます。 ※③のモードが「自動で設定する」に設定されている場合、グレー表示の項目は設定でき ません。設定を行いたい場合は「自動で設定する」を無効にしてください。

3. ファイルからの呼び出し

では、実際に ML プリント画面でファイルを呼び出してみましょう。 ここでは下記の CSV 形式のファイルを例に説明します。



■ファイル形式設定値

- ① ファイル名 : (フルパス名)+社員データ.CSV
- ② 可変長/固定長 : 可変長
- ③ モード
 : 自動で設定
- ④ ③の詳細設定 : カンマ区切り (.csv)

MLプリント画面を起動して「ファイル」ボタンを押してください。

▶ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	イアウト) - SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLプリント]
■-ファイル ホーム 編集 表示	۵
日本 新行開始 発行中止 日本 新行開始 発行中止 日本 新行用 新行用 新行中止 日本 新行用 新行用 新行中止 日本 新行用 新行用 新行用 新行中止 日本 新行用	アーイル ODBC ページ 発行動作 印字設定 連番設定 データ 設定
🗵 フィルタ 👼 クリア	💼 基準日付 म ×
T (すべて) (すべて) III	(すべて) 基準日付: 2013/02/01 - 📮
No. 社員番号 氏名	部署名
• *	 ・ ・ ・
< III	
検索: 検索文字を入力してください。 ④ 🖻	≪−ジ:0/0 🗄 🗋 100% 🗇 💭
◎ データー覧 □ ログ出力 2 エラーー覧	
F1: ヘルプ F2: 開く F3: 次を… F4: 発行 F5:	プレ […] F6: デー […] F7: ファ […] F8: 一覧 […] F9: 次の […] F10: 連 […] F11: 動 […] F12: 終了
	Lesprit408v ドライバー名 0件

今まではそれぞれの項目を入力する必要がありましたが・・・ 社員データ.CSVの内容をファイル形式設定に基づいて呼び出すことができました。

P 🗁 - I	2 ┣ + 🖥 💩 + 📄 + ∓ 外部ファイル練習(レイアウト) - SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLプリント] □ 💽												
■ ・ファイ	′ル ホ-	ーム 編集 表示				۵							
出力先	第二日の日本の目的目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目	発行中止 プレビュー		ページ 発行重	▶ ▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●								
	ルタ 詞	クリア			■ 基準日付	Ψ×							
T	(すべて)	(すべて)	(すべて)	(すべて)	基進日付: 2013/02/01	. 🗖							
No.	社員番号	氏名	部署名	発行枚数									
- + 1	9990	マルチ ラベ男	ML本部V5開発課	1 *									
2	9991	マルチ ラベリ子	ML本部V 5 サポート	1	□ 印刷プレビュー	ų×							
3	9992	マルチ ラベリス	ML本部V5国際課	1									
*													
				<u> </u>									
				-									
検索:検索	文字を入力	っしてください。 🛛			ページ:0/0 📋 🗋 100% 🖯								
◎ データ-	-覧 🗋 🗆	グ出力 🔓 エラー一覧											
F1: ヘルプ	F2: 開く	F3:次を… F4:発行	F5: プレ… F6: デー	··· F7: ファ···	F8: 一覧… F9: 次の… F10: 連… F11:	動… F12:終了							
					Lesprit408v ドライバ	(一名 3件							

ファイル発行はデータを呼び出す事はできますが、発行ボタンを押す必要があります。 発行まで自動で行いたい場合は「<u>3:自動発行</u>」をご参照ください。

<u>以上で「1:ファイル発行」は終了です。</u>

知っておくと便利な機能

1.フィルタ機能

条件で絞り込んだデータのみ発行したい場合は、以下のフィルタ機能を使用しましょう。 「社員番号」に入力されたデータをキーとして絞り込みを行います。

各項目の上の欄に絞りこみたい値を入力します。

山方先 発行	8 R 74	1123	- 7-9 27.14		*
3 3/10	Rit	7	テーク		
3 24/03	900	(J.	र)	(3/2)	П
No.	2	山香号 氏名		鮮麗名	
	1 9	1990 ZIV	チ 5ベ病	ML本部V5開発課	
	2 9	991 マル	チ ラベリ子	ML本部V5サポート	
	3 9	992 7/1/	チ ラベリス	ML本部V5国際課	
	4.9	993 マル	チョベ彦	ML本部V5開発課	
	5 9	101 マル	チ ラベ美	ML本部V5サポート	
	6 9	102 7/1/	チ ラベッタ	ML本部VS国際課	

入力した値と前方一致するデータに絞り込んで表示します。



先頭のみワイルドカード指定が可能です。 "%["] または ^{"_"} :1 文字以上の任意の文字列

例として「%310」または「_310」と入力することで、^{"310"}を一部に含むデータ(部分一致) に絞込みが可能です。

2:振分発行

1. 振分発行とは

複数のレイアウトを、1つの発行画面でレイアウトを自動的に振り分けて発行する機能です。「ML ソート」の「振分定義」を使用して設定します。



■準備

これまでの練習を思い出して下のようなレイアウトを2つ作成しましょう。

- プリンタ: レスプリ T408v/R408v
- 用紙: 縦45mm×横70mm
- レイアウト名: 振分1.mllayx

デザイン画面



変数画面

4	ーローカル	レ変数-	覧							щ
[追	♪ 1 1 加編集	<mark>〕</mark> 挿入	切り	取り	0) 28-	<mark>『</mark> 貼り付	¥ け 削除			
	変数名			区分			桁数		詳細	
٠	ℯ₽品名			入力			1	0	入力種類:文字	*
	🖉 맘쁖			አታ				5	入力種類:文字	
	<i>@</i> □v†	No ∕		አታ			1	0	入力種類:文字	
	 ■バ 	`−⊐-	۴	結合			1	5	指定文字削除:な…	
	~ ₽ 🗛	番		入力			1	5	入力種類:文字	
	a 🗆	ש אין א	b	入力			1	0	入力種類:文字	

プリンタ: レスプリ T408v/R408v

用 紙 : 縦45mm×横70mm

レイアウト名 : 振分2.mllayx

デザイン画面



作成出来ましたか?

それでは、振分定義を設定しましょう。

1. 振分定義・入力割付の設定

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の S MLソート を選択します。

「項目割り付け」ボタンをクリックします。



「項目割り付け」画面が表示されます。

「自動作成」チェックボックスを有効にし、「追加」ボタンをクリックします。

S 項目割り付け		? 💌
レイアウト選択(L) 自動(A) 選択(S) 選択(S)		
レイアウト Image: Section 1 Image: Sectio	■	振分定義項目
レイアウト名 項目数 割付済	入力項目名 桁数 振分項目名	振分項目名 桁
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	▲ 遥択割付	*
	通択コピー	
	۲ ۲	< <u> </u>
		OK キャンセル

「振分1.mllayx」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

S レイアウトファイルを	開く			×
Q → ↓ 51	ブラ	リ ▶ ドキュメント ▶ SATO	▼ ⁴ SATOの検索	م
整理 ▼ 新しいフォ	±11∕3	Ĵ—		0
☆ お気に入り ダウンロード	-	ドキュメント ライブラリ SATO	並べ替え:	フォルダー ▼
📃 デスクトップ		名前	更新日時	種類
🗓 最近表示した場	=	🐻 結合練習.mllayx	2013/01/25 17:32	MLレイアウト
SkyDrive		爩 絞込み発行.mllayx	2013/02/01 15:23	MLレイアウト
		營 振分1.mllayx	2013/02/01 15:23	MLレイアウト
ちょう ちょうちょう		營 振分2.mllayx	2013/02/01 17:32	MLレイアウト
		💖 日付練習.mllayx	2013/01/25 17:03	MLレイアウト
■ ドキュメント		💖 複写練習.mllayx	2013/01/24 17:33	MLレイアウト
📔 ピクチャ		💖 名前ラベル.mllayx	2013/01/11 17:35	MLレイアウト
🛃 ビデオ		💖 名前ラベル2.mllayx	2013/01/17 17:24	MLレイアウト
🎝 ミュージック		🖑 連番練習.mllayx	2013/01/25 16:00	MLレイアウト 👻
	Ŧ	< III		۴.
5	アイ	ル名(N): 振分1.mllayx	 レイアウト (*.m< 開く(0) ▼ 	Illayx) ▼ キャンセル

続いて「追加」ボタンをクリックし、登録した 「振分2.mllay」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

S	項目	割り付け												? 💌
V	ተፖ	ウト選択(<u>L</u>) 自動(<u>A)</u>)										
	レイ	アウト-[振分1] —										l l d	辰分定義項目	
I	 追加	■ <mark>■ 日本</mark> ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	🔽 自動作	「成		自	➡ ○ 動割付 自動コピ	- 全	て解除			;	▲ ▲	
I	ι	レイアウト名	項目数	割付済			入力項目名	桁数	振分項目名		-		振分項目名	桁刊
	▶ 扔	辰分1	3	3	*	•	品名	10	品名	•	選択割付		品名	*
							品番	5	品番	•			品番	
							□ットNo	10	ロットNo	•	選択コピー		□ットNo	
											×			
											選択解除			
					-									-
										,				
													OK	±+7.2/7/1.
														++200



レイアウトファイルを	周<		×
ב‡۲ » 🌡 🗸 🔾	メント → マイドキュメント → SATO	▼ ⁴ SATOの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォ	ルダー	8	• 🔟 🔞
☆ お気に入り ダウンロード	ドキュメント ライブラリ SATO	並べ替え:	フォルダー 🔻
📃 デスクトップ	名前	更新日時	種類
🗐 最近表示した場	* ジェックテーブル練習.mllayx	2013/01/29 13:30	MLレイアウト
🐔 SkyDrive	👹 テーブル練習.mllayx	2013/01/28 15:36	MLレイアウト
	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	2013/01/25 14:25	MLレイアウト
🍃 ライブラリ	🧐 外部ファイル練習.mllayx	2013/02/01 13:52	MLレイアウト
■ ドキュメント	🧐 結合練習.mllayx	2013/01/25 17:32	MLレイアウト
■ ピクチャ	爩 絞込み発行.mllayx	2013/02/01 15:23	MLレイアウト
■ ビデオ	¹¹⁰⁰ 振分1.mllayx	2013/02/01 15:23	MLレイアウト
	¹⁰⁰ 振分2.mllayx	2013/02/01 17:32	MLレイアウト
0, ~1 , 200 ·	MMS 日,付補型 mllavy ▼ ◀ III	2012/01/25 17:02	MIL./코러ト •
7;	ァイル名(N): 振分2.mllayx	 レイアウト (*.n 聞く(0) 	nllayx) ・ キャンセル

下の画面になりましたか? 良ければ「OK」ボタンをクリックします。

S	項目割り付け											? ×
ι	√イアウト選択(<u>L</u>) 自動(<u>A</u>)) 選択(<u>S</u>)	選択(<u>S</u>)									
	レイアウト-[振分2]									L.	很分定義項目	
	Image: Weight of the second	🔽 自動作成	Ž.		合う 自動割付 自動コピ	- 全	て解除				[]] []	
	レイアウト名	項目数 書	们行済	11	入力項目名	桁数	振分項目名		-	16	振分項目名	桁
	振分1	3	3 4		 品名 	10	品名	* *	選択割付	Ш	▶ 品名	*
	▶ 振分2	2	2	Ш	品番	5	品番	•	1		品番	
				Ш					選択コピー	Ш	□уトNo	
				Ш					×	Ш		
				Ш					選択解除	Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш						Ш		
				Ш				-		Ш		-
					<			•			۰ III	•
											_	
											ок 📑	ヤンセル

振分項目が追加され、入力定義画面にも項目が配置されます。

S 🖻 🖥 🤊 • C • •		(振分)* - SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLソート]	
	入力定義		~
🔀 オブジェクト	₽ 入力定義		
▶ 選択	品名	品番::::□\\\\\\\	入力項目
			基本設定 《 ^
			項目名: ロットNo
A X7	:::::::		- 桁数: 10 * 区分: ヘッダ
イメージ			□ 発行枚数項目
XX ボタン			発行枚数
直線			項目名表示: 入力フィールドの上に…・・
四角形	No.		テーブル表示: なし …
	1	A	
	2		構美衣小: なし … 目
			入力チェック:なし …
			入力桁数制限: なし ・
-			枚数計算: なし …
			7+10
		10桁 入力タイプ:なし その他チェック:なし 「連進(100%) 100% (一) (中)	
			サイズ(pt): 9 ・
續 振分項目		4	
追加 削除 コピー 貼り付	(十 一括 検索: J	目名の一部を入力してください	B I U ₩C 🖨
			色の設定
	10 0	A A	文字色: ■黒 ・
品番	5 ^		背景色: #00FFFFFF ▼
□у ԻNo	10 ^	ダ	初期値
			詳細設定 🔷
			入力項目
			入力項目を設定します。

■自動作成を使った項目割付について

「自動作成」を有効にしてレイアウト追加を行うと、「振分定義項目」の項目追加や、各レイアウトの持つ項目と、振分定義項目との割付を自動で行えます。

今回の「振分1.mllayx」「振分2.mllayx」の場合、最初に「振分1」を追加した際に 入力項目として設定してあった「品名」「品番」「ロット No」が「振分定義項目」に追加され、 各入力項目は、同じ名前の振分定義項目に割付られます。

(S)項目割り付け レイアウト選択(<u>L)</u> 自動(<u>A</u>) 減	選択(<u>S</u>) 選択(<u>S</u>)					? 💌
レイアウト-[振分1]] 自動作成	 ・ ・ ・	区 全て解除		振分定義項目 □ 業 追加 削除	
レイアウト名 耳 ・ 振分1	6目数 割付済 3 3 4	入力項目名 桁 ・ 品名 品番 ロットNo	数 振分項目名 10 品名 ・ ^ 5 品番 ・ 10 ロットNo ・	 → 選択割付 → 選択コピー × → →	振分項目名 - 品名 品番 ロットNo	桁

その後「振分2」を追加した際には、入力項目として設定してあった「品名」「品番」は既に 「振分定義項目」にあるため、割付のみされます。

S 項目割り付け		? 💌
レイアウト選択(L) 自動(A) 選択(S) 選択(S)		
~レイアウト-[振分2]		- 振分定義項目
Image: Weight of the state of the	■ □ × 自動割付 自動コピー 全て解除	□ 業 追加 削除
レイアウト名 項目数 割付済	入力項目名 桁数 振分項目名	振分項目名 桁
振分1 3 3 1	▶ 品名 10 品名 · ▲ 選択割付	•品名 ^
▶ 振分2 2 2	品番 5 品番 -	品番
	選択コピー	רש ⊢No
	選択解除	

「自動作成」を無効にしていた場合は、これらの設定を「選択コピー」や「選択割付」 などのボタンを使って、手動で行う必要があります。

2. レイアウト判別

振分定義・入力割付の次には、レイアウト判別項目の設定を行います。

これは、レイアウトを振分る為のキーとなる項目を指定します。

練習では、入力された「品番」が00001なら「振分1.mllayx」、「品番」が00002なら「振分2.mllayx」を印字するように設定しましょう。

「判別定義」ボタンをクリックし、「レイアウト判別定義」画面を開きます。

S 🖻 🖥 🤊 • C • •	;				(振分)
= ファイル ホーム	入力定義				
■ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	入力定義	によって		ab り12 項目割り付け	
設定	, 01.2.IX		画面表示		

「レイアウト判別定義」画面が表示されるので、「項目名称」の入力欄をクリックします。

S レイアウト判別定義					? 🗙
編集(E) 移動(M) 確認(C)					
📑 📈 🖆 💼 🗰 💋 挿入 切り取り コピー 貼り付け 削除 表示切替	項目名の一部をノ	入力してください		□ 400 移動 下へ移動	回 回 未使用 テスト
判別項目					*
判別順位項目名称	į	桁数 開始位	2置 終了位置	区分	判別範囲
• 1	•				
3	•				
4	-				
5	-				
レイアウト判別値					
レイアウト					
• •					
					OK キャンセル

「振分項目」から、品番を選択し、「OK」をクリックします。

S レイアウト¥ 編集(E) 移動(◎別定義 M) 確認(C)						? 🗙
○ メ 挿入 切り取り	□□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	項目名の	一部を入力して	ください		→ 動 下へ移動	■ □□8 未使用 テスト
判別項目	項目名称		桁数	開始位置	終了位置	区分	■ 判別範囲
 1 2 	振分項目		•				
3	項目名	桁数 10					
5 レイアウト判	▶ 品番 ロットNo	5 10					
レイアウト							
	 判別範囲 開始位置 1 判別区分 ○ 数値 ④ 文字 ○ 判別範囲 有無 	~ 終了位置	5 🛟				
	ОК	キャンセル					
							OK キャンセル

品番が判別項目に追加されます。

レ- 集(I	イアウト# E) 移動(判別定義 (M) 確認((C)										?
) 入	米 切り取り	D) 24-	() 貼り付け	¥ 🛃 削除 表示切	項目名の一	一部を	えカしてく	ださい		■ 1/2 上へ移動	→三 助 下へ移動	- 👊 🕬 未使用 テスト	
刯別	項目												^
4	判別順位	項目名称					桁数	開始位置		終了位置	区分	判別範囲	
•		品番				-	5		1	5	文字		
	2					•			_				
	4					•							
	5					-							
	レイアウト	~	(1	~5,文字)	判別範囲1	条件	‡範囲1 ▼						
												ок ‡ 1	ァンセル

レイアウト(振分1)を選択します。 選択後、Enter キーを押すと、判定値の入力になります。

S L 編集	レイアウト¥ (E) 移動(別定義 M) 確認(C)							? 🗙
 ゴ 挿入 	メ 切り取り	□ □ □ 	項目名の一部	を入力してく	ださい		↓= 助 下へ移動	😡 ¤8 未使用 テスト	
判	別項目								*
	判別順位	項目名称		桁数	開始位置	終了位置	区分	判別範囲	
۲	1	品番		• 5		1 5	文字		
	2			•					
	3			•					
	5			•					
	イマウト判	別値					1		
	レイアウト	品番							
×	· · · · · ·	(1~5,文字)	判別範囲1 身	(牛車))出1					
Î	城万1 振分1		-	-					
ł	取刀と								
								ОК +7	ッセル

判定値で、「00001」と入力します。

S L	ノイアウト#	则定義														6	? ×
編集	(<u>E</u>) 移動(<u>M</u>) 確認	B(<u>C</u>)														
ご 挿入	メ . 切り取り	ראכ באכ	貼り付け	¥ ♥ 削除	日本の目的では、 日本の日本の目的では、 日本の	項目名の	一部を	入力し	τ<	ださい			[] 移重	→/三 力 下へ移動	₩ 未使用	ロ48 テスト	
判	別項目																*
	判別順位	項目名称	ľ.					桁数		開始位置		終了位置		区分	判別範	Ξ	
۲	1	品番					•		5		1		5	文字			
	2						•										
	3						•										
	4						•										
	5						•										
	イアウト判	別値															
	レイアウト		6	品番 1~5 文	字)	判別範囲1	冬月	1 節囲1									_
r	振分1		- 0	0001		+3/33#6#4 x	=										
					_			•									
											_		_				
															ОК	†7	ンセル

レイアウト(振分2)を選択します。

選択後、Enter キーを押すと、判定値の入力になります。

S し 編集	レイアウト¥ (E) 移動(■別定義 M) 確認(C)												? 🗾
〕 私	→ 、切り取り	〇 に コピー 貼り付	🙀 💋 すけ 削除 表示切替	項目名の一部	陸 ノ	入力してく	ださい			移重	↓■ 加下へ移動	<mark>⊮</mark> 未使用	ロ\$ テスト	
判	別項目													1
	判別順位	項目名称				桁数	開始位置		終了位置		区分	判別範	iШ	
۲	1	品番			•	5		1		5	文字			
	2				•									
	3				•									
	4				•									
	5				•									
V	イアウト判	別値												
	レイアウト		品番 (1~5,文字)	判別範囲1 🖇	条件	範囲1								
	振分1	-	00001		-	-								
r		-				-								
	振分1													
	振分2													
			_											
												ок	+ 7	ンセル

判定値で、「00002」と入力します。

S L	レイアウト¥	l別定義 M) 破認(C)									?
1983 	i(⊑) 49±0(. X		¥ 5	項目名の一番	部を	入力してく	ださい			48	
雨入	、切り取り	コピー 貼り付	け 削除 表示切替							動 下へ!	多動 未使用 テスト
判	別項目										
	判別順位	項目名称				桁数	開始位置		終了位置	区分	判別範囲
٠	1	品番			•	5		1		5 文字	
	2				•						
	3				•						
-	4				•						
	3				•						
	イアウト判	別値	-								
	レイアウト		品番 (1~5,文字)	判別範囲1	条件	範囲1					
	振分1	•	00001		=	•					
r	振分2	-	00002	-	=	•					
		•				-					
_											
											OK キャンセル

判定値の入力後、「OK」ボタンをクリックします。

3. 振分項目設定

振分項目の設定を行います。

振分には、発行枚数項目が必要です。 ここで、発行枚数の項目を追加します。

「追加」ボタンをクリックします。

₩ 100	目取代						щ
し 追加 i	¥ D 除 ⊐ピー	Image: Bit State Image: Bit State Bit State Image: Bit State	検索	「項目名の一部を入力	してください	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <	
項目	名	桁数		区分			
品名	,		10	ヘッダ			
品種	ł		5	ヘッダ			
► □ >	/ トNo		10	ヘッダ			
							Ŧ

項目名称、発行枚数の桁数を入力し、追加する項目の配置場所(ヘッダまたは行)を指定し、発行枚数項目にチェックを入れます。

S 振分項	目登録			-? -	٢.
振分項目で	を登録します。				
TECA				1-100 m	
項曰名:	発行权叙			桁致: 5	┛
区分:	行	• 📝 発行枚数	項目		
					_
			ОК	キャンセル	1
					J

下のように設定できましたか? 発行枚数項目が赤く表示されているのを確認してください。

🛃 振分項目					щ
□ 🗰 🗗 追加 削除 コピー	記 日本 14 14 14 14 14 14 14 <th14< th=""> <th15< th=""> <th15< th=""> 14<th>: 項目名の一部を入力</th><th>してください</th><th> マレプ </th><th></th></th15<></th15<></th14<>	: 項目名の一部を入力	してください	 マレプ 	
項目名	桁数	区分			
品名	10	ヘッダ			*
品番	5	ヘッダ			
ロットNo	10	ヘッダ			
▶ 発行枚数	5	行 - (発行枚数項目)			
					*

項目が設定できたら、「保存」ボタンをクリックし、作成した振分ファイルを 「振分練習」と名前をつけて保存します。

「終了」ボタンをクリックして、MLソートを終了します。

SE 🛢 🤊 • C • •	-	振分練習(振分)*	* - SATO Multi LAB	ELIST V5 Standard[MLソ-	-ト]		
ミファイル ホーム	入力定義						۵
■●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	入力定義 振分	項目 プロパティ 項目書	▶ ↓12 削り付け 判別定義				
設定		画面表示					
🎇 オブジェクト	4 入力3	É			🚰 プロパティ		щ
▶ 選択	品名	品報	□v⊦No		発行枚数		•
「「「「「」 振分項目		000000000 <mark>2</mark> 000000			基本設定		*
					項目名: 発行枚	数	
A XT					桁数: 5	• 区分: 行	
1×->					🔽 発行枚数項目		
xx ボタン	No	. 発行枚数			発行枚数		
直線		1 XXXXX			項目名表示:	入力フィールドの上に…	-
- 四角形		2 4			テーブル表示:	なし	
					編集表示:	なし	
					入力チェック:	なし	
		- 物数 5桁	□標准(100%) 10		入力結数制限・	t>L.	-
					++	+>1	- 11
◎ 振分項目				#	10.9011月;	74:0	
□ ₩ □□ 追加 削除 □□ 貼!	■ ■ 様 ○付け 一括	漆: 項目名の一部を入力	してください		フォント		
項目名 林	行数	区分			メイリオ		•
品名		10 ヘッダ		A	サイズ(pt): 9	• •	
品番		5 ヘッダ			BIU		
רש ⊢No		10 ヘッダ			色の設定		
▶ 発行枚数		5 行 - (発行枚数項目)			文字色: 📕 黒	Į	-
					祭行执拗		
				*	発行枚数を設定し	ます。	

4. 振分発行

先ほど保存した「振分練習.mldenx」ファイルをダブルクリックし、ML プリントを起動します。 ML ソートで作成した振分ファイルを発行して、レイアウトが振り分けられて発行されているのを 確認しましょう。

📔 📄 • 💼 💿 • 📄 • =	振分練習(振分) - SA	TO Multi LABELIS	ST V5 Standard[ML	プリント]		
ミニファイル ホーム 編集	表示					۵
田力先 判別 単 第 行 第 行 第 行 第 行 第 行	止 プレビュー データ ファイル のDBC データ	5 先頭 前	次 末尾 ページ	ジ: 1 / 0 発行動作	▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	[5]] 設定
品名 品番 ロッ	/ hNo		基準日付			Ψ ×
		暑	基準日付: 2	013/03/08		-
フィルタ うりりア		Là	印刷プレビュー			д ×
T (9~C)						
NO. 発行权数		A				
		· 10				
検案: 検索文字を入力してください)° (ページ:0/0			100% - +
🔝 レイアウトー覧 🔊 データー覧	📄 ログ出力 🔓 エラー一覧				100.007	
F1: ヘルプ F2: 開く F3:	次を検索 F4: 発行 F5: プレビ··· F	6: データ… F7:	: ファイ… F8: 一5	電入力 F9: 次のペ…	F10: 連番…	F11: 動作··· F12: 終了
				レイアウト名	プリンタ名	ドライバー名 件数

振分発行画面が表示されるので項目を入力してみましょう。

5. 発行結果の確認

品番に「00001」と入力して「レイアウト1」を発行しましょう。 📔 🗁 - 🔚 🔕 - 🖨 - = 振分練習(振分) - SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLプリント] - • × ミニファイル ホーム 編集 表示 『示 記》
 』
 和別
 和行間始
 発行間始
 発行性
 プージー
 プージ
 プージ
 フービュー
 プージ
 フージ
 フージ
 フージ
 マージ
 データ 設定 举行 JットNo ABCDEFGHIJ 品番 🧱 基準日付 品名 4 × 1234567890 00001 基準日付: 2013/03/08 -▶️印刷プレビュ・ πх 🛛 フィルタ 둸 クリア 1 (すべ т 発行枚数 No 1234567890 品名 1 1 品番 00001 ABCDEFGHIJ LotNo *00001ABCDEFGHIJ* |4 44 4 **b** bb b| 検索:検索文字を入力してください。 ページ:1/1 100% 🕞 👤 + 🚵 レイアウト一覧 🔊 データー覧 📄 ログ出力 🔓 エラー一覧 F6: デー・・・ F7: ファ・・・ F8: 一覧・・
 F9:次の…
 F10: 遠番…
 F11: 動作…
 F12: 終了

 レイアウト名
 プリンタ名
 ドライバー名
 1件
 F1: ヘルプ F2: 開く F3: 次を… F4: 発行 F5: プレ…

品番に「00002」と入力して「レイアウト2」を発行しましょう。

E ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ 振分練習(振分) - SATO Multi LA	BELIST V5 Standard[MLプリント]
■ニファイル ホーム 編集 表示	۵
日本 新聞 日本 新聞 発行開始 発行中止 プレビュー データ ファイル ののBC 先頭	 前次末尾 1/1 2.1/1
発行 データ	ページ 設定
品名 品番 JットNo	■ 基準日付 平 ×
1234567890 00002 ABCDEFGHIJ	基準日付: 2013/03/08 - 🥥
🛛 フィルタ 👼 クリア	□ 印刷プレビュー # ×
(すべて)	
No. 発行枚数	品名 1234567890
*	品番 00002
	* 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 0 0 0 2 *
	· · ·
•	
検索: 検索文字を入力してください。 ■ ▶	ページ:1/1 (100%) maintenance (1)
▲ レイアウトー覧 ◎ データー覧 ■ ログ出力 ◎ エラーー覧 E1: ヘルプ E2: 問く 52: 次を… E4: 形行 E5: プレー 54: デー	E7・ファ… E2・一覧… E0・次の… E10・連発… E11・静作… E13・始マ
	レイアウト名 プリンタ名 ドライバー名 1件

正しく発行されましたか?

以上で「2:振分発行」は終了です。

3:自動発行

ここでは、サンプルレイアウトを使って自動発行に挑戦してみましょう。

1. 自動発行とは

ユーザプログラムや、Windowsの[ファイル名を指定して実行]など外部のアプリケーションから Multi LABELIST V5の発行プログラムを起動し、パラメータを与えることでそのパラメータに応 じた動作を実装する事が出来る機能です。



■書式

″①実行プログラムパス″_″②ML ファイルパス″_パラメータ_″③パラメータ設定値″

※_ (アンダーバー)は半角スペースを表します。

①実行プログラムパス

フルパスで指定してください。

インストール先ディレクトリを変更していない場合、下記のパスとなります。

32bitOS : C: ¥Program Files ¥SATO ¥MLV5 ¥MLPrint.exe

64bitOS : C:¥Program Files (x86)¥SATO¥MLV5¥MLPrint.exe

②ML ファイルパス

レイアウトファイル(*.mllayx)または振分ファイル(*.mldenx)をフルパスで指定してください。

③パラメータ設定値

パラメータに従った設定値を指定してください。 設定値が必要ないパラメータもあります。

※Multi LABELIST V4 から移行のお客様

発行を行うために新たに発行開始パラメータ「/O」を追加してご利用ください。

"C:\Program Files\MLV4\LPrint.exe"_"C:\Layout.milay"_/g_"C:\Sample.csv"

出力先指定(/V、/D)の括り文字を[]から^{⁷⁷⁷に変更してください。}

"C:\Program Files\MLV4\LPrint.exe"_"C:\Layout.ml\ay"_/v[SATO CL4NX]_/g_"C:\Sample.csv"

⇒"C:¥Program Files¥SATO¥MLV5¥MLPrint,exe"_"C:¥Layout,milayx"_/v_"SATO CL4NX"_/g_"C:¥Sample.csv"_/o

■パラメーター覧

指定機能	パラメータ	動作内容	
データ指定			
ファイル取込み	/G(g)	ML プリント画面を起動し、指定のファイルを読み込みます。	
データ取込み	/1(i)	ML プリント画面を起動し、指定のデータを読み込みます。	
動作指定			
発行画面表示	なし	動作指定パラメータがない場合は、発行画面を表示します。	
発行開始	/O(o)	発行処理を行います。	
印刷プレビュー	/P(p)	印刷プレビューを表示します。	
出力先指定			
レイアウトファイルに従う	なし	出力先指定パラメータがない場合は、レイアウトファイルで指定され ている出力先を利用します。	
プリンタドライバ指定	/\/(\/	指定されたプリンタドライバを利用します。	
設定ファイル指定 ※振分ファイルのみ	/D(d)	設定ファイルを利用して、レイアウト毎にプリンタドライバを指定します。	
オプション指定			
参照専用モード	/K(/k)	レイアウトを参照専用モードで開きます。	
税率指定	/Z(/z)	発行時の税率を指定します。	

以下に各パラメータの機能詳細を記載しております。

アルファベットの大文字で記載されていますが、小文字でも同様の指定が可能です。 全てのパラメータで、レイアウトまたは振分ファイルの指定が無い場合無効となります。

■データ指定

<u>ファイル取込み:/Gパラメータ</u>

- ・ 指定のファイルを読み込み、ML プリントを起動し、データを呼出します。
- / パラメータ(データ取込み)と併用した場合、本パラメータのみ処理し、/ パラメータは 無視します。
- 指定のファイルが存在しない場合、本パラメータは無視されます。

<u>データ取込み://パラメータ</u>

- ・ 指定のデータを読み込み、ML プリントを起動し、データを呼出します。
- /Gパラメータ(ファイル取込み)と併用した場合、本パラメータは無視し、/Gパラメータ を処理します。
- 指定のデータが存在しない場合、本パラメータは無視されます。

■動作指定

<u>発行開始:/Oパラメータ</u>

- ・ 指定したレイアウトファイル(振分ファイル)で ML プリントを起動し、発行を開始します。
- /G(外部ファイル指定)または/I(内部データ指定)パラメータと併用します。
- /Pパラメータ(印刷プレビューコマンド)と併用した場合、本パラメータのみ処理し、/Pパラメータは無視します。

<u>印刷プレビュー:/Pパラメータ</u>

- 印刷プレビューを表示します。
- /G(外部ファイル指定)または/I(内部データ指定)パラメータと併用します。
- /Oパラメータ(発行開始コマンド)と併用した場合、本パラメータを無視し、/Oパラメータを処理します。

■出力先指定

<u> プリンタドライバ指定:/V パラメータ</u>

- 出力するプリンタドライバの名称を指定します。
- /G(ファイル指定)または/I(データ指定)パラメータと併用します。
- ・ / O パラメータ(発行開始)と併用します。
- /Dパラメータ(設定ファイル指定)と併用した場合、本パラメータのみ処理し、/Dパラメータは無視します。
- 指定した出力先が存在しない場合、本パラメータは無視されます。
- プリンタドライバのパラメータ指定例は下記の通りです。
- 振分ファイル: C:¥ML¥Test.mldenx外部ファイル: C:¥ML¥Test.txtプリンタドライバの出力先: SATO SG408

"C:\Program Files\MLV5\MLPrint.exe" "C:\ML\Test.mldenx" /G "C:\ML\Text.txt" /V "SATO SG408" /O

設定ファイル指定:/Dパラメータ ※振分ファイルのみ

- ・ レイアウト毎の出力先が設定された設定ファイルのパスを指定します。※1
- /G(ファイル指定)または/I(データ指定)パラメータと併用します。
- ・ / O パラメータ(発行開始)と併用します。
- /Vパラメータ(プリンタドライバ指定)と併用した場合、本パラメータは無視し、/Vパラメータのみ処理します。
- ・ 指定のファイルが存在しない場合、本パラメータは無視します。
- 出力先ファイルのパラメータ指定例は以下の通りです。
 振分ファイル : C:¥ML¥Test.mldenx
 外部ファイル : C:¥ML¥Text.txt
 出力先ファイル : C:¥ML¥Out.txt

"C:\Program Files\Placeter: The set and th

※1 設定ファイルフォーマット(タブ区切りテキスト)

- 該当するレイアウトファイルまたはドライバ名称が存在しない場合、レイアウトファイルのデフォルト出力先から出力します。
- 1レコード毎に、レイアウト名とドライバ名称を指定します。

レイアウト名	タブ	ドライバタ称	CR/LF
(フルパス・拡張子付き)	(09h)		(ODh/OAh)

■オプション指定

参照専用モード: /K パラメータ

- レイアウトファイルを参照専用モードで開きます。
- /Oパラメータ(発行開始)と併用します。
- 参照専用モードは1つのレイアウトファイルを複数同時に使用できますが、発行時に変更 される情報(連番設定、ローカル変数の保存連番値、出力先設定、ファイル形式設定、発 行時動作設定、印字設定)が保存されませんのでご注意ください。特に、連番値の保存を 使用している場合は、参照専用モードは使用しないでください。

<u>税率指定:/Zパラメータ</u>

- 発行時の税率を 0.0~100.0 で指定します。
- /Oパラメータ(発行開始)と併用します。
- 本パラメータで税率を指定した場合、税編集で設定した税率(ユーザ税率や固定値)は使用 されません。

2. ショートカットの作成

以下より、「Layout.mllayx」というレイアウトファイルに「Sample.csv」という外部データを 呼び出して自動発行させるショートカットアイコンの作成方法を例として説明します。

- ・この2つのファイルは C:¥TEST に保存されていると仮定します。
- ・呼び出すデータの形式に応じてあらかじめ外部ファイル形式の設定を行う必要があります。
 (設定方法は「<u>1:ファイル発行-2.ファイル形式の設定</u>」をご参照ください)

まず最初に発行プログラムのショートカットを作成します。

「C:¥Program Files¥SATO¥MLV5」のフォルダの中の「MLPrint.exe」を選択します。 右クリックのメニューから「コピー」を選択します。



次にマウスをデスクトップに移動させて右クリックのメニューから「ショートカットの貼り付け」 を選択します。



するとデスクトップ上に「MLPrint.exe」へのショートカットが作成されます。



作成したショートカットを選択して右クリックのメニューから、プロパティを開きます。



「MLPrint.exe」のショートカットのプロパティ画面が表示されます。

リンク先に発行プログラムまでのフルパスが表示されています。

🔀 MLPrint.exe	- ショートカットのプロパティ	×	
全般 ショートオ	カット 互換性 セキュリティ 詳細	以前のバージョン	
	MLPrintlexe - ショートカット		
• 種類:	アプリケーション	リンク先(T):	"C:¥Program Files¥SATO¥MLV5¥MLPrint.exe"
場所:	MLV5		
リンク先(T):	[©] C:¥Program Files¥SATO¥ML	.V5¥MLPrint.exe″	
作業フォルダー((S): "C:¥Program Files¥SATO¥ML	.\/5″	
ショートカット キー(K):	なし		
実行時の 大きさ(R):	通常のウィンドウ	•	
י(0)אינאב:			
ファイルの場	場所を開く(F) アイコンの変更(C)	詳細設定(D)	
L	OK ¥t	ンセル 適用(A)	

「C:¥Program Files¥SATO¥MLV5¥MLPrint.exe」の後に「レイアウトファイル名」、「パラ メータ」、「外部ファイル名」を付け加えます。

すると、最終的には次のようになるので「OK」ボタンをクリックします。

"C:¥Program Files¥SATO¥MLV5¥MLPrint.exe"_"C:¥TEST¥Layout.mllayx"_/g_"C:¥TEST¥Sample.csv"_/o

※_ (アンダーバー) は半角スペースを表しています。

3. 使用方法

作成したショートカットをダブルクリックすれば、指定したパラメータ通りに自動発行されます。



正しく発行されましたか?

以上で「3:自動発行」は終了です。

4:プリセット発行

1. プリセット発行とは

発行時にデータ入力を行うのではなく予め印字内容を登録しておき、発行時に呼び出しキーによっ てデータを呼び出し発行する機能です。呼び出したデータを溜めて、まとめて発行する事もできま す。



■準備

これまでの練習を思い出して下のようなレイアウトを作成しましょう。

- プリンタ: レスプリ T408v/R408v
- 用紙 : 縦45mm×横70mm
- レイアウト名 : プリセット.mllayx



2. プリセットデータ登録

まずはじめに発行するデータの登録をおこないましょう。

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5>ML プリセットの
MLプリセット登録 を選択します。

パスワード入力後、発行データを登録するレイアウトを選択します。 今回は「プリセット.mllay」を選択してください。

□パスワードの確認 ? 2
MLプリセット登録を起動します。 管理者パスワードを入力してください。
パスワード:
OK キャンセル

プリセット登録画面となります。

D 🗁 - =	プリセット(レイアウ	ト) - SATO Multi LABELIST V5 Pl	us[MLプリセット登録]	
ミファイル ホーム	編集 表示			۵
★→ジ 一覧 呼び出し 3 表示形式	 ○ コピー ○ コピー ○ 助り付け ○ テータ 	イル プレビュー 中止 確認 (4 先 4 前	頭 ▶ 未尾 ページ: 1 / 0 移動	
呼び出しキー:			・	# x
項目名	入力値	編集結果		
品名				
品番				
バーコードテータ入力				
発行权数				
אויין פרל				
			- ページ:1/1	99% 🗕 🔶 🕂
🖾 レイアウト一覧 🌆 振分	一覧			
		וש	〜ープリンタ Lesprit408v ド	ライバー名 新規登録 0件

では実際に、発行データの登録を行ってみましょう。

まず呼び出しキーを入力します。呼び出しキーは発行する時にキーとなる項目です。

	プリセット(レイアウト)* - SATO Multi LABELIST V5 Plus[MLプリセット登録]
	表示 ム
★→ジー・覧 表示形式	 ※初9取り ※前除 □ □└- □ □└- □ 示イン選択 □ ファイル ファイル ブレビュー 中止 (4 先頭 (4 先頭 (4 売)
呼び出しキー: 001	 ■ 注意印刷プレビュー # × ■ 注意印刷プレビュー # ×
項目名 入力	
品名	
ハーコートナータ人刀	
(元) 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
77.5 1 11.824	
▲ レイアウトー覧 ▲ 振分一覧	
	サトーノリンタ Lesprit408v トライバー名 新規登録 * 0件

各入力項目に発行データを入力します。

画面右の「印刷プレビュー」ウィンドウで印字イメージが確認できます。

D 🗁		:	プリセット(レイア:	ウト)* - SATC) Multi LABELIS	T V5 Plus[ML	プリセッ	/卜登録]			
モファイル ホ	ニム 編集	表示									۵
 ページ 売覧 呼 表示形式 	AD び出し 登録	★切り取り ↓ コピー ↓ いけけ データ	🕌 削除 🗟 すべて選択 フ	ค [วา <i>า</i> ม วีเ	レビュー ・ 確認	4 先頭 ▶) 44 前 ▶	>次 末尾 移動	 新規 ページ: 1 / 0 			
呼び出しキー:	001						-	2 印刷プレビュ	.—		Ψ×
	001	-						<u>t</u>			
項目名	入力	「値」		編集結果							
品名	100	Lさり人ナック					_ []	+~1-	ゼリフエッ	Ь	
・ 「 留 バーコードデー	-勾入力 400	319100001					-	0	さりステク	2	
パコージ 発行枚数	10	515100001					-	12	34567	890	
エ カット枚数	1						-				
									4993191000019		
							-	ページ:1/1	99% (
▲ レイアウト一覧	▲ 振分一覧										
						サトープリン	/夕 L	.esprit408v	ドライバー名 新規	登録* 0件	

登録ボタンにてデータの登録を行います。

D 🗁 - =	プリセット(レイアウト	・)* - SATO Multi LABELIST V5 Plus[MLプリセ	
モファイル ホーム	編集 表示		۵
	 ※切り取り ※前除 ③コピー □ 貼り付け データ 	イル プレビュー 中止 体物 体物 た顔) 次) 、) り 次) 1 末尾	□ 新規 ページ: 1 / 0
呼び出しキー: 001		- 	■ こ 印刷プレビュー 年 ×
項目名	入力値	編集結果	
品名	おにぎりスナック	*	
品番	1234567890		おにぎりスナック
バーコードデータ入力	499319100001		1224567800
発行枚数	10		1234307850
I カット枚数	1		
		•	ページ:1/1
🔝 レイアウト一覧 🌆 振分-	一覧		
		サトープリンタ	Lesprit408v ドライバー名 新規登録 * 0件

それでは、以上の要領でいくつかデータを登録してみましょう。

登録が終わったらプリセットデータを保存しましょう。 ファイルメニューの中から「プリセットデータを保存」を選択します。

モファ	イル
	開く Ctrl+O ♪ 既存ファイルを開きます。
	プリセットデータを保存 プリセットデータを保存します。 Ctrl+S
	閉じる ファイルを閉じます。
0	最近使用したファイル・
	オプション オプションを表示および編集します。
?	ヘルプ ヘルプを表示します。 F1 →
Ż	終了 アプリケーションを終了します。

ファイルメニューの中から、終了を選択し ML プリセット登録を終了させてください。

それでは、ML プリセット発行で、登録したデータを呼び出して発行してみましょう。
3. プリセット発行

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5>ML プリセットの PMLプリセット発行 を選択します。

ML プリセット発行画面となります。

	SATO Multi LABELIST	「V5 Enterprise[MLプリセット発行]		-	
ニニファイル ホーム 編集 表示					â
山力先 呼出発行 予約発行 発行中止	プレビュー 中止 呼び出し 保存 ページ 一覧	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	2 6)/F		
発行	確認 ファイル 表示形式	設定			
呼び出しキー: 検索キー:			•	▲準日付: 2019/07/04	# X
項目名 入力値	編集結果			しぬ印刷フレビュー	¥ ×
			*	14 44 4 ▶ ▷▶ ▶ ペ-ジ:1/1 (1) 100% ⊕	
💼 レイアウトー覧 🎰 振分一覧 🔥 エラーー	覧 📋 ログ出力				

「呼び出しキー」を入力すると、入力したキーで絞り込まれたデータが一覧に表示されます。 また「プルダウン」ボタンにて一覧を表示させ、選択することも出来ます。 OKボタンで呼び出すデータを確定してください。

び出しキー:	0												
索キー:	2	プリセッ	トデータを選択しま	ます。									
		No.	呼び出しキー	検索キー	レイアウト	振分							
項目名	•	1	001		プリセット								
		2	002		プリセット								
		3	003		プリセット								
		OK キャンセル											

該当するデータが呼び出され、表示されます。

P =		SATO Multi LABELIS	T V5 Enterprise[MLプリセット発行]		-	
	表示					â
山力先 呼出発行 予約発行	1 アンドロー アンドロー 中止	呼び出し 保存 ページ 一覧	25 A行動作 印字設定 連番設定	报 分動作		
発行	確認	ファイル 表示形式	設定			
marchine at a cont					🔜 基準日付	μ×
呼び出しキー: 001				•	基準日付: 2019/07/04	- 📃
快楽十一:				•		
項目名	3.4.4	編集結果				÷ ^
• 品名	おにぎりスナック			*		
品番	1234567890					
パーコードデータ入力	499319100001				わにギリマナック	
発行枚数	1				あにざりステック	
カット权数				Ţ	1 2 3 4 5 6 7 8 5) Ø
▲ レイアウトー覧 ● 振分一覧	🏽 🔥 エラー一覧 📄 ログ出力					

「呼出発行」ボタンにて発行を行います。

₽ =	SATO Multi LABE	IST V5 Enterprise[MLプリセット発行]	- 🗆 X
ニファイル ホーム 編集	表示		
田田 田力先 町出発行 予約発行 発行	発行中止 分け中止 確認 ファイル な示形 た ま の の の の の の の の の	1 条行動作 印字設定 連番設定 協分	0 80/1F
呼び出しキー: 001			• 基準日付: 2019/07/04 • 属
12012-1			- ເວັດສຸສາງ/, Ka-
項目名	入力値 編集	果	
▶ 品名	おにぎりスナック		· .
品番	1234567890		
パーコードデータ入力	499319100001		
発行枚数	1		おにぎりスナック
カット枚数			
▲ レイアウト一覧 ● 振分一覧	▶ Iラ-一覧 目グ出力		

以上がプリセット発行の基本操作です。 次ページからは、発行データを予め予約しておき発行する練習を行いましょう。 4. プリセット予約発行

発行データを複数呼び出して予約しておき、そのデータをまとめて発行を行います。

「編集」タブをクリックしリボン表示を切り替えます。

₽ =				SATO Multi	LABELIST V5 E
二三ファイル ホーム	編集	表示			
全 の 呼び出し 予約	★ 切り取り う コピー ■ 貼り付け	💥 削除 🔝 すべて選択	 【 先頭	 新規 ページ: 1 / 0 	D
	データ		移重	b	
呼び出しキー:					
検索キー:					
項目名		入力値			編集結果

呼び出しキーを入力し発行データを呼び出し、「予約」ボタンをクリックします。 この操作を繰り返して予約データを登録します。

実際に、いくつか登録してみましょう。

P						SATO N	lulti LA	ABELIST V5 Enterprise
	ファイル ホー	ム編集	表示					
[14	A び出し 予約	※切り取り うコピー こい。 こい。 こい。 こい。 この この しい。 しい。 しい。 しい。 しい。 しい。 しい。 しい。	業 削除	4 先頭 ▶ 44 前	▶次 末尾	 新規 ページ: 1 	/0	
		データ			移動)		
四	呼び出しキー: 検索キー:	001						
	項目名		入力値				編	集結果
•	品名		おにぎりスナッ	ク				
	品番		1234567890					
	バーコードデー	-タ入力	49931910000	1				
	発行枚数		1					
	カット枚数							

リボンの「ホーム」タブに表示を切り替えて、「一覧」ボタンを押すと一覧画面に切り替わります。 予約したデータの確認が行えます。一覧画面で予約データを登録することも可能です。

₽ =								SATO	Multi LABELIST V	/5 Enterprise	e[MLプリセッ	卜発行]		
-1= 774	イル	ホーム	編集	表示										
山力先	; 1	第二日 手出発行 発	一 予約発行	(× 発行中止	していた。 プレビュー 確認	文 中止	呼び出し ファイ	保存 ル	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	没 行動作	印字設定設定	25 連番設定 定	人 振分動作	
No.		呼び出し=	F	検索キー		レイブ	⁷ ウト	振	分	発行枚数	 皮	カット	攻数	ſ
	1	001	•		•	プリセ	ヹット			1				Ľ
	2	002	-		•	プリセ	ヹット			1				
	3	003	•		•	プリセ	Zット			1			- 8	
****	*					••••	•••••	••••		•••••				

予約が終わったら「予約発行」ボタンにて発行を行います。

P	=							SATO	Multi LA	BELIST V	/5 Enterprise	e[MLプリセッ	ト発行]		
-	≡ ファイル		4 編集	表示											
	山力先	呼出発行	一 予約発行	(X 発行中止	ブ レビュー	2 中止	ぜい し び 出し じ じ じ じ じ じ じ じ じ ・ ・ ・ ・ ・	保存	■ ページ	Ⅲ 一覧	予 行動作	印字設定	25 連番設定	振分動作	乍
		-	発行		確認	1	ファイ	JL	表示	形式		設	定		
	No.	呼び出し	/=-	検索キー		レイフ	アウト	振	分		発行枚	改	カット	枚数	
	1	001	•		•	プリt	ヹット				1				•
	2	002	•		•	プリt	ヹット				1				
	3	003	•		•	プリt	ヹット				1				
	*		-		-										

正しく発行されましたか?

以上で「4:プリセット発行」は終了です。

5:フォルダ監視発行

1. フォルダ監視発行とは

MLV5 が周期監視しているフォルダに、発行したいデータファイルを配置するだけで発行できる 機能です。ファイル形式は固定長と可変長(区切り文字は任意に設定可能)に対応しています



■準備

これまでの練習を思い出して下のようなレイアウトを2つ作成しましょう。

- プリンタ: レスプリ T408v/R408v
- 用紙: 縦45mm×横70mm
- レイアウト名 : 監視 1.mllayx

デザイン画面



変数画面

K	マローカル変数一覧				д
(1	1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ん ① 💼)取り ⊐ピー 貼り付	¥ け 削除		
	変数名	区分	桁数	詳細	
•	ℯ┛品名	入力	10	入力種類:文字	*
	ℯ┛品番	入力	5	入力種類:文字	
	ℳロットNo	入力	10	入力種類:文字	
	 ■バーコード 	結合	15	指定文字削除:な…	
	₩ 品番	入力	5	入力種類:文字	
	<i>@</i> ■ロットNo	入力	10	入力種類:文字	
					-

ファイル形式(ファイル発行参照)

📔 ファイル形式	式設定										? 💌
ファイルの形式	を設定し	します。									
ファイル名:											
種類: 可変長	Ę	• 🔽 自	めで設	定する(<u>A</u>)							
ファイルフォ・	ーマット	イメージ:								1	
[ヘッダ]:	エリア	[行]エリア14	行目	[行]エリア2行	ΞĒ		[行]エリ	Jアn行目	CR/LF		
3個	1	1個	_								
 - ファイル形式	t										
ファイル形式	式: 力:	ンマ区切り(*.c	sv)	-							
🔲 ファイル	の1行目の	のデータを取り	込まな	£€\(<u>L</u>)							
括り文字											
括り文字:	削除	する(<u>E</u>)									
詳細設定											
「ヘッダコエ」	リアの項	目数:		3 ^	個	自動調	安定値: 3	個			
	わ1行ち!	この酒日数・		· · ·		白動	0.宁庙· 1	1			
[1]]10/0	1001	2.700項日数:									
[行]エリアの	り行数:			1 .	行	目動語	安定値: 1	行			
末尾まで]	取り込む	(<u>0</u>)									
									7	ィールド定	:義(<u>D</u>)
🛕 詳細設定	を変更	する場合は、フ	アイル	レフォーマットと	:入力	項目の	整合性には	ご注意くだ	<u>さい</u> 。		
								_			
									OK	# 1	ッンセル

- プリンタ: レスプリ T40 8v/R40 8v
- 用紙: 縦45mm×横70mm
- レイアウト名: 監視2.mllayx

デザイン画面



変数画面

			-								
H	ローカル	変数-	覽							ф	JL.
追) 🎁 加 編集	○∬ 挿入	。 切り	ん 取り	0) ⊐ピ–	<mark>に</mark> 貼り付	¥ け 削除	Ŧ			
	変数名			区分			桁数		羊細		
	ℯ┛品名			አታ			10	D 🕽	入力種類:文字	4	A.
	ℴ┚品番			ኢታ			5	5 🕽	入力種類:文字		
•	<u>- こ</u> バ		ド	結合			15	5 ł	皆定文字削除:な…		
	<i>₢</i> ₽ 品	名		入力			10	D 🕽	入力種類:文字		
	<i>@</i> ⊒ 品	番		入力			5	5 🕽	入力種類:文字		
											Ŧ

ファイル形式(ファイル発行参照)

	x
ファイルの形式を設定します。	
ファイル名:	
種類: 可変長 ▼ 図 自動で設定する(<u>A</u>)	
ファイルフォーマットイメージ:	
[ヘッダ]エリア [行]エリア1行目 [行]エリア2行目 [行]エリアn行目 CR/LF	
2個 1個	
ファイル形式	
ファイル形式: カンマ区切り(*.csv) ・	
□ ファイルの1行目のデータを取り込まない(L)	
括り文字	
括り文字: 🛄 削除する(E)	
詳細設定	
[ヘッダ]エリアの項目数: 2 (個 自動設定値: 2 個	
[行]エリアの1行あたりの項目数: 1 個 自動設定値: 1 個	
[行]エリアの行数: 1 (7) 自動設定値: 1 行	
☑ 未尾まで取り込む(<u>○</u>)	
フィールド定義(<u>D)</u>
▲ 詳細設定を変更する場合は、ファイルフォーマットと入力項目の整合性にご注意ください。	
ОК # 7>	tu

作成出来ましたか?

それでは、フォルダ監視を設定しましょう。

2. フォルダ監視の設定

フォルダ監視発行の基本操作として、下記の条件で監視設定と発行を行ってみましょう。 監視フォルダ : C:¥sato¥watch レイアウト : 監視1.mllayx データファイル: data1.csv 出力先 : SATO Lesprit408v

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の

ユーザーアカウント制御は「はい」ボタンをクリックします。

😵 ユーザー アカウント制御
プログラム名: Multi LABELIST V5 Ver.5.5.0.0 確認済みの発行元: SATO CORPORATION ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ
✓ 詳細を表示する(<u>D</u>) (はい(Y) いいえ(N)
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

パスワードを入力します。

🔝 パスワードの確認
MLメンテナンスを起動します。 管理者パスワードを入力してください。
パスワード:
OK キャンセル

左のメニューから「監視設定」を選択し、「フォルダー・ファイル監視を設定する。」をクリック します。

🔟 SATO Multi LAE	ELIST V5 Plus [MLメンテナンス]	? 🗙
フォルダー・ファイ	ノル監視の動作を設定します。	
起動設定	フォルダー・ファイル監視を設定する。(<u>W</u>)	
言語設定		
税率設定		
発行履歴		
監視設定]	
情報表示		
	ОК	-ャンセル

監視設定(ML ウォッチ設定ツール)が起動します

🛄 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール]	
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(<u>H</u>)	
サービス	*
状態: 停止	
操作: [開始(<u>S</u>) 停止(<u>○</u>) 一時停止(<u>∪</u>) 再開(<u>M</u>)]
スタートアップの種類: 手動 ・ 適用(<u>A</u>)	
	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🕻 KB	適用
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📜 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: ○使用する	
セットファイル: 🥅 使用する 拡張子: set	v
キャンセル要求: ファイル単位で停止する	·
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト	出力先 備考 追加(A)
• * ···· ··· ··· ··	····································
	上へ移動(U)
	 ▼

では実際に、フォルダー監視設定を行ってみましょう。

まず監視フォルダを選択します。

※ ネットワーク上のフォルダ(¥¥で始まる共有フォルダや割当てられたネットワークドライブなど)は監視フ ォルダに設定しないでください。フォルダ監視やラベル発行で予期せぬトラブルが発生する可能性があります。

III SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール]	- • •
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(<u>H</u>)	
サービス	*
状態: 停止	
操作: 傳始(<u>S</u>) 停止(<u>O</u>) 一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)	
スタートアップの種類: 手動 • 道用(<u>A</u>)	
	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 二 出力する データのバックアップ: 1 1	
「監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: □ 使用する	
セットファイル: 🥅 使用する 拡張子: set 🕞	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する ・	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 借考	追加(<u>A</u>)
• • • • • • •	▲ 削除(D)
	上へ移動(旦)
	▼ 下へ移動(型)
E 4	



監視対象のデータファイル名に「*.csv」を入力します。

M SATO Multi LABELIS	T V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *			- • ×
ファイル(<u>E</u>) ツール(<u>I</u>)	へレプ(<u>H</u>)			
サービス				*
状態 :	停止			
操作:	開始(<u>S</u>) 停止(<u>O</u>) 一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)			
スタートアップの種類:	手動 ▼ 適用(<u>A</u>)			
イベントログ				*
イベントログ: 表示()	L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用			
発行履歴: □ 出力 ⁻	する データのバックアップ: 1 1 日			
監視設定				*
監視周期: 1	.0 🛟 秒 マルチスレッド: 🗌 使用する			
	セットファイル: 🗌 使用する 拡張子: set 🕞			
	キャンセル要求: ファイル単位で停止する -			
フォルダー一覧				*
No. 監視フォルタ	ブー データファイル レイアウト	出力先	備考	追加(A)
 C:¥sato¥wa 	itch · *.csv ···· ¹ 回定のレイア··· · ··	(レイアウトの…・	● 不正な設定値…	^ 削除(D)
*	•	•		
				上へ移動(旦)
				▼「下へ移動(W)」

レイアウトを選択します。

🛄 レイアウトファイルの選択	3		X
עמ–ם » ע ק פון	ディスク (C:) 🔸 sato 🔸 layout 🗸	✓ ↓ layoutの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	ł	= - 1 0
🔰 tool 🔷	名前	更新日時	種類
	🂖 監視1.mllayx	2015/10/08 13:58	MLレイアウトフ
□ 21/20 □ ドキュメント	🐷 監視2.mllayx	2015/10/08 13:58	MLレイアウトフ
■ ピクチャ			
🛃 ビデオ			
♪ ミュージック			
▶ コンピューター			
🏭 ローカル ディス			
👝 ローカル ディス			
Ψ.	•		•
ファイ	ル名(N): 監視1.mllayx	 レイアウトファ 	イル (*.mllays 👻
		開<(<u>0</u>)	キャンセル
			-11

🔝 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ソール] *	
$\mathcal{I}_{\mathcal{T}}\mathcal{I}_{\mathcal{I}}(\underline{E}) \mathcal{Y} = \mathcal{I}_{\mathcal{I}}(\underline{I}) \mathcal{I}_{\mathcal{I}}(\underline{H})$	
サービス	*
状態: 停止	
操作: 開始(<u>S</u>) 停止(<u>Q</u>) 一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)	
スタートアップの種類: 手動 ・ 道用(<u>A</u>)	
イベントログ	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📜 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: □使用する	
セットファイル: 🥅 使用する 拡張子: set -	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する ・	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 備考	追加(<u>A</u>)
 ● 1 C:¥sato¥watch … *.csv … 固定のレイア… C:¥sato¥layo レイアウトの… ▼ ● 不正な設定値… 	▲ 削除(<u>D</u>)
	-
	上へ移動(旦)
	▼ 下へ移動(型)

出力先を選択します。

🛄 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *	
ファイル(<u>E</u>) ツール(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
サービス	*
操作・ 開始(S) 停止(O) 一時停止(U) 面閉(M)	
イベントログ	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🕻 KB 適用	
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 🛔 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 🕽 秒 マルチスレッド: 🗌 使用する	
セットファイル: 🥅 使用する 拡張子: 🛛 👻	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する 🔸	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト	出力先 備考 追加(<u>A</u>)
◎ 1 C:¥sato¥watch ···· *.csv ···· 固定のレイア···· ▼ C:¥sato¥layo···	
*	SATO Lesprit408v
	SATO Lesprit408v1
	SATO Lesprit412v
	SATO ECORR
	SATO SC408R-ey
	SATO SG412R-ex
	SATO SG424R-ex

フォルダーー覧にエラーが表示されていないことを確認し、サービスの「開始」ボタンをクリックします。

M SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウオッチ設定ツール] *	
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)	
サービス	*
· (信止	
操作: 開始(<u>S</u>) 「停止(<u>Q</u>) 」一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)	
スタートアップの種類: 手動 ▼ 適用(<u>A)</u>	
イベントログ	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📜 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: □ 使用する	
セットファイル: 🔲 使用する 拡張子: set 🚽	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する -	
	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 備考	追加(<u>A</u>)
I C:¥sato¥watch … *.csv … 固定のレイア… ▼ C:¥sato¥layo SATO Lesprit4… ▼	 削除(D)
	上へ移動(U)
	▼「へ移動(W)」



実行中となれば、フォルダ監視が正常に動作しています。

M SATO Multi LABELIST VS Plus [MLウォッチ設定ツール]	
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)	
и -ех	*
状態: 実行中	
操作: 開始(<u>S</u>) 傳止(<u>Q</u>) ──時傳止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)	
スタートアップの種類: 手動 ・ 通用(<u>A</u>)	
112200	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 CKB 違用	
発行履歴: 日 出力する データのバックアップ: 1 1 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 〕 秒 マルチスレッド: □使用する	
セットファイル: et # set # se	
キャンセル要求:ファイル単位で停止する・	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 傷考	追加(<u>A</u>)
C:#sato#layo SATO Lesprit4… マ A でに#sato#layo SATO Lesprit4… マ	〔 削除(<u>D</u>)
	上へ移動(U)
	下へ移動(W)

データファイルを監視フォルダに配置して発行を行います。

データファイル:data1.csv

1234567890,00001,AAAAAAAAAAA,1 1234567890,00001,BBBBBBBBBB,1 1234567890,00001,CCCCCCCCC,1

Sale watch	✓ ★ watchの絵索	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	ツール(I) ヘルプ(<u>H</u>)	
- 整理 ▼ ライブラリに追加 ▼	共有 ▼ 新しいフォルダー	≣ ▾ 🔟 🔞
	~ 名前 ~	更新日時 種
⇒ ライブラリ ドキュメント ピクチャ	data1.csv	2015/10/08 18:44 M
■ ビデオ ♪ ミュージック	 ✓ 	•
1 個の項目		

以上がフォルダ監視発行の基本操作です。

次ページからは、レイアウトや出力先をデータで指定する方法の練習を行いましょう。

3. レイアウトのデータ指定

発行するレイアウトを固定のレイアウトからデータファイルで指定する方法へ変更します。 例として、データファイルの「品番」が[~]00001[~]なら「監視1.mllayx」を、[~]00002[~]なら「監 視2.mllayx」で発行する方法を設定します。

まず使用するレイアウトと紐付けるデータ(判別キー)を設定します。

ツールメニューの「レイアウト判別設定」を選択します。

🔝 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *
ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)
サービス 😡 レイアウト判別設定
状態: 助力先判別設定
操作: し インポート 単(O) 一時停止(U) 再開(M)
スタートアッ ユクスポート 適用(A)
イベントログ
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 KB 適用
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📜 日
監視設定
監視周期: 1.0 🗘 秒 マルチスレッド: 🗌 使用する

判別キーに「00001」と入力します。

💹 レイアウト判別設定			? 💌
レイアウト判別のキーとレイア	りトのパスを設定します。		
	レイアウト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	م 	<u>追加(A)</u> 削除(<u>D</u>) 上へ移動(<u>U</u>) 下へ移動(W)
		ОК	

レイアウト「監視 1.mllayx」を選択します。

🛄 レイアウト判別設定		? 🔀
レイアウト判別のキーとレイ	アウトのパスを設定します。	
No. 判別丰一	レイアウト	追加(A)
*		<u>削除(D)</u>
		上へ移動(型)
		▼ 下へ移動(<u>W</u>)

🔟 レイアウトファイルの	羅択		×
○○○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	ルディスク(C:) → sato → layout →	↓ layoutの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォ.	ルダー	Ē	= - 1 🕡
🔰 tool 🧳	▲ 名前 ▲	更新日時	種類
	। ৩5 監視1.mllayx	2013/03/08 17:12	MLレイアウトフ
C ライフラリ	₩ 監視2.mllayx	2013/03/08 17:13	MLレイアウトフ
■ ドキュメント			
📔 ピクチャ			
📑 ビデオ			
👌 ミュージック			
■ コンピューター = ローカル ディス - ローカル ディス - ローカル ディス	=		
	III		
נכ	ァイル名(<u>N</u>): 監視1.mllayx	✓ レイアウトファ 開く(<u>0</u>)	・イル (*.mllay> ▼ キャンセル

同様に、判別キー「OOOO2」とレイアウト「監視 2.mllayx」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

M	レイフ	ולי	>判別設定				? 💌
V	イアウ	/ ト半	別のキーとレイアウ	へのパスを設定します。			
	No.		判別キー	レイアウト			追加(A)
		1	00001	C:¥sato¥layout¥監視1.mllayx		*	
-		2	00002	C:¥sato¥layout¥監視2.mllayx			
		•				_	
						-	<u>下へ移動(W)</u>
						_	
					ок		キャンセル

続いて、監視方法を設定します。

レイアウトで「データで指定する」を選択します。

- M SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *	- • ×
ファイル(E) ツール(I) \wedge ルプ(H)	
サービス	*
状態: 停止	
操作:	
スタートアップの種類: 手動 ▼ 適用(<u>A)</u>	J
7~>>DD	*
イベントログ: 表示(<u>L</u>) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 日カする データのバックアップ: 1 1	
監視設定	*
監視問期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: 使用する	
セットファイル: 🔲 使用する 拡張子: set -	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する -	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 備考	追加(<u>A</u>)
I C:¥sato¥watch … *.csv … 固定のレイア… C:¥sato¥layo SATO Lesprit4… マ	^
* … <u>日本の、(フォトを使用する</u> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
7 - 9 CIBC 9 G	上へ移動(U)
	下へ移動(W)
	▼ (1 ×1)P 202(<u>1</u>)

「…」をクリックします。

III SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *	- • ×
ファイル(E) ツール(I) \sim レプ(H)	
サービス	*
状態: 停止	
操作: 開始(<u>S</u>) 停止(<u>O</u>) 一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)	
スタートアップの種類: 手動 ・ 適用(<u>A</u>)	
イペントログ	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📜 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: (●使用する)	
セットファイル: 🛄 使用する 拡張子: set -	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する -	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 備考 備考	追加(<u>A</u>)
I 1 C:¥sato¥watch ···· *.csv ···· データで指定··· · 可変長[1] ···· SATO Lesprit4··· ·	▲ 削除(<u>D</u>)
	上へ移動(U)
	下へ移動(W)
	•

判別フィールド設定が表示されます。

● 判別フィールド設定 ?	×
データファイルの形式と判別フィールドを設定します。	
種類: 可変長 ・ ファイル形式 ファイル形式: カンマ区切り(*.csv) ・ □ ファイルの1行目のデータを取り込まない(<u>L</u>)	
括り文字	
文字コード 文字コード: ANSI ▼	
- レイアウト判別項目 項目番号: 1 、	
OK =ヤン1	עוש ווו.

レイアウト判別項目を「2」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。 (データファイルの2番目の項目で、レイアウトを判別します。)

Image: 100 million 100 million <td< th=""></td<>
データファイルの形式と判別フィールドを設定します。
種類: 可変長 ・ ファイル形式 ファイル形式: カンマ区切り(*.csv) ・
□ ファイルの1行目のデータを取り込まない(<u>L</u>)
括り文字 括り文字: 🔲 削除する(E)
文字コード 文字コード: ANSI ▼
- レイアウト 判別項目 項目番号: 2 、
OK キャンセル

ファイルメニューの「保存」を選択し、サービスを再起動します。

M SATO Multi LABELIST V	5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *
ファイル(F) ツール(T) へ	レプ(H)
闄 保存(S) Ctrl+S	
	テ中 ()
操作:	開始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再開(M)
スタートアップの種類: 手	動 ▼ 適用(A)
イベントログ	
イベントログ: 表示(L)	. ログファイルのサイズ: 5056 KB 適用



データファイルを監視フォルダに配置して発行を行います。

データファイル:data2.csv

1234567890,00001,AAAAAAAAAA,1 99999999999,00002,1 1234567890,00001,CCCCCCCCC,1



レイアウト「監視 1.mllayx」と「監視 2.mllayx」が発行されれば完了です。

 品番 00001 LotNo AAAAAAAAAA 品番 00002 品名 1234567890 	品名	1234567890					
LotNo AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA	田番	00001		202020202			
品番 00002 品名 1234567890	LotNo	ААААААААА	品名	9999999999			
			品番	00002		¢	1234567890
* 0 0 0 0 1 A A A A A A A A A A A A A A A	* 0 0	0 0 1 A A A A A A A A A A A *			명	日番	00001
toooooooooooooooooo					Lo	tNo	ссссссссс
			+99	1999999999900002+			
* 0 0 0 0 1 C C C C C C C C C *						* 0 0	001CCCCCCCCC*

4. 出力先のデータ指定

出力先を固定のプリンタドライバからデータファイルで指定する方法へ変更します。 例として、データファイルの項目に新たに「プリンタ判別番号」を設け、「PR1」なら「SATO Lesprit408v」、「PR2」なら「SATO Lesprit408v(1 コピー)」で発行する方法を設定します。

まず使用する出力先のプリンタドライバと紐付けるデータ(判別キー)を設定します。

ツールメニューの「出力先判別設成	è」を選択します。
------------------	-----------

🚺 SATO M	ulti LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール]						
ファイル(F)	ツール(T) ヘルプ(H)						
サービス	▶ レイアウト判別設定						
状態:	IDD 出力先判別設定						
操作:	▲ インポート ■ 正(O) 一時停止(U) 再開(M)						
スタートア	■ エクスポート 適用(A)						
イベントロ	イベントログ						
イベントロ	ヴ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 KB 適用						
7647 67 67 .							

判別キーに「PR1」を入力します。

🔟 出力先判別設定			? <mark>×</mark>
出力先判別のキーとプリンタを設	定します。		
No. 判別丰一	出力先 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	•	追加(<u>A)</u> 削除(<u>D</u>)
		Ŧ	上へ移動(U) 下へ移動(W)
		ОК	キャンセル

出力先を選択します。

🔟 出力先	判別	削設定							? 💌
出力先判	別の)キーとプリン	夕を設定	ミします。					
No.		判別キー		出力先				T	追加(A)
-	1	PR1		0		-			
	*			SATO G	HS612R				(<u>D</u>)
				SATO H	14224R				-1
				SATO L	esprit40	8v			
				SATO E	esprit40	8V (1	그ヒ-)		-
				SATO L	esprit40	8v1			
				SATO L	esprit41	2v			
				SATO M	IR610e				
				SATO S	G408R				
				SATO S	G408R-6	⊇X			=
				SATO S	G412R-6	≧X			
				SATO S	G424R-€	ΞX			-
				CATO C	D 4 0 0				⊥∽∽動(U)
									下へ移動(W)
								•	
							OK		+++>>++7).
							UN		

同様に、判別キー「PR2」と出力先も設定します。

🔣 出力先判别	則設定		? 🗙
出力先判別の)キーとプリンタを設定	こします。	
No.	判別キー	出力先	追加(<u>A</u>)
1	PR1	SATO Lesprit4… •	*
2	PR2	SATO Lesprit408 🔹	
*		SATO EV212R2	*
		SATO GHS612R	
		SATO HA224R	
		SATO Lesprit408v	
		SATO Lesprit408v (1 그ピー))
		SATO Lesprit408v1	
		SATO Lesprit412v	
		SATO MR610e	
		SATO SG408R	=
		SATO SG408R-ex	
		SATO SG412R-ex	動(<u>U)</u>
		CATO CC404D av	×
			▼
		ок	キャンセル

「OK」ボタンをクリックします。

M :	■ 出力先判別設定 ? 王						
出力	コ先判別の	キーとプリンタを設定	とします。				
	No.	判別キー	出力先		ſ	追加(A)	
	1	PR1	SATO Lesprit4…	•	-		
•	2	PR2	SATO Lesprit4…	•		削除(<u>D</u>)	
	*		•	,			
					-		
						上へ移動(U)	
					ſ	下へ移動(<u>W</u>)	
					*		
				ОК		±+7`/7//	
				UN			

続いて、監視方法を設定します。

出力先で「データで指定する」を選択します。

🔝 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)
サービス *
状態: 実行中
操作: 開始(<u>S</u>) 停止(Q) 一時停止(<u>U</u>) 再開(<u>M</u>)
スタートアップの種類: 手動 ・ 道用(<u>A</u>)
1<>> Lag *
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 📫 日
監視設定
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: ●使用する
セットファイル: 🥅 使用する 拡張子: set -
キャンセル要求: ファイル単位で停止する 🗸
フォルダー一覧
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 備考 追加(A)
I 1 C:¥sato¥watch … *.csv … データで指定… • 可変長 [2] … フトの設定に従う) • 創除(D)
* · · · · · · · · · · · · · ·
(パンタで)(日本(多数)) 上へ移動(U)

「…」をクリックします。

🛄 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *	- • •
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)	
サービス	*
状態: 実行中	
操作: 開始(S) 停止(Q) 一時停止(U) 再間(M)	
スタートアップの種類: 手動 ・ 適用(<u>A</u>)	
イベントログ	*
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 🛟 KB 適用	
発行履歴: 🔲 出力する データのバックアップ: 1 🛔 日	
監視設定	*
監視周期: 1.0 ↓ 秒 マルチスレッド: ○使用する	
セットファイル: 🛄 使用する 拡張子: set -	
キャンセル要求: ファイル単位で停止する •	
フォルダー一覧	*
No. 監視フォルダー データファイル レイアウト 出力先 供考	追加(<u>A)</u>
I 1 C:¥sato¥watch … *.csv … データで指定… * 可変長 [2] … (データで指定… * 可変長 [1] …	▲ 削除(□)
	上へ移動(U)
	下へ移動(W)

「判別フィールド設定」が表示されます。

(レイアウトが「固定のレイアウトを使用する」の場合は、「出力判別フィールド設定」が表示されます。)

	? ×
データファイルの形式と判別フィールドを設定します。	
種類: 可変長 ・ ファイル形式 ファイル形式: カンマ区切り(*.csv) ・ □ ファイルの1行目のデータを取り込まない(<u>L</u>) #50文字	
括り文字 括り文字: 🔲 削除する(E)	
文字コード 文字コード: ANSI ・	
レイアウト判別項目	
項目番号: 2 🛟	
出力先判別項目 項目番号: 1 •	
ок	マンセル



「出力先判別項目」で「5」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。 (データファイルの5番目の項目で、出力先を判別します。)

11 11 11 12 1
データファイルの形式と判別フィールドを設定します。
種類: 可変長 ▼
ファイル形式: カンマ区切り(*.csv) ・ ファイルの1行目のデータを取り込まない(<u>L</u>)
文字コード 文字コード: ANSI ・
^{按日田づ・} 2 → 出力先判別項目 項目番号: 5 ↓
OK キャンセル

ファイルメニューの「保存」を選択し、サービスを再起動します。

🔝 SATO Multi LABELIST V5 Plus [MLウォッチ設定ツール] *
$\Box_{\mathcal{P}} \mathcal{I}_{\mathcal{I}}(F) = \mathcal{V}_{\mathcal{I}}(T) - \mathcal{V}_{\mathcal{I}}(H)$
県 保存(S) Ctrl+S
这 終了(X) Alt+F4 _{行中}
操作: 開始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再開(M)
スタートアップの種類: 手動 ▼ 適用(A)
イベントログ
イベントログ: 表示(L) ログファイルのサイズ: 5056 KB 適用



データファイルを監視フォルダに配置して発行を行います。 データファイル: data3.csv

1234567890,00001,AAAAAAAAAAA,1,PR1 999999999999,00002,1,,PR2 1234567890,00001,CCCCCCCCC,1,PR2 55555555555,00002,1,,PR1

🚱 🕞 🗣 📔 « sato 🕨 watch	✓ watchの検索	٩
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>)	ツール(I) ヘルプ(<u>H</u>)	
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼	共有 ▼ 新しいフォルダー	= - 1 🔞
	▲ 名前 ▲	更新日時 種
⇒イブラリ ドキュメント ピクチャ ビデオ ミュージック	data2.csv	2015/10/09 15:15 M
	▼ (III	
1個の項目		

2つの出力先に発行されれば完了です。

「PR1」の設定プリンタ

品名 12	234567890 0001	品名 9 品番 0	9999999999 0002		
LotNo A		* 9 9 9 9	999999990	0002*	
	品名 555555555 品番 00002		品名品番	1234567890 00001	
	* 5 5 5 5 5 5 5 5 5 0 0 0 0 2 *		LotNo ###### * 0 0	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	

「PR2」の設定プリンタ

<u>以上で「5:フォルダ監視発行」は終了です。</u>

知っておくと便利な機能

1. データファイル名のワイルドカード指定

フォルダ監視の設定で、データファイル名を指定する際に、ワイルドカードが利用できます。

- ″*″ : 1 文字以上の任意の文字列
- "?":任意の1文字

					N .	
5	ォルダ		覽			
	No.		監視フォルダー	データファイル		レイアウト
•		1	C:¥sato¥watch ··	???.csv		データで指注
		*				

■使用例

設定例	説明	該当するファイル名
*.CSV	拡張子が.csv のファイルすべて	data1.csv、test1.csvなど
a-*.txt	ファイル名の先頭が [″] aー [″] であり、拡張子が.txt のファイル	a-test.txt、a-001.txt など
data-???.dat	ファイル名が [″] data- [″] +任意の3文字であり、 拡張子が.dat のファイル	data-001.dat、 data-m83.dat など
out????.*	ファイル名が [~] out [~] +任意の4文字であるファ イルすべて	out0001.txt、out-abc.csvなど

2. 設定値のインポート・エクスポート

監視設定(ML ウォッチ設定ツール)で設定した値を、ファイルから読込(インポート)・ファイルへ保存(エクスポート)することができます。パソコンの入替えや複数のパソコンで同じ設定値を利用する場合に活用できます。



3. ログの確認とログレベル

フォルダ監視発行で、ファイルの解析エラーなど監視中に発生した障害の情報は、常にイベントロ グに出力されます。正常に処理できた情報は「ログレベル」を「情報・警告・エラー」に変更する ことで出力されます。

サービス					
監視対象:	フォルダー	•			
状態:	停止				
操作: イハ	ベントログが起動	して、ログの内容	が確認できます。 🎽		
スタートアップの程表:	EI #/J	Υ	жт(A)		
ログ:	ログ表示(止)		ログレベル:	情報・警告・エラ−	-
T + 20.00					

ログの出力内容は、ML メンテナンスのヘルプをご確認ください。

4. データのバックアップ

フォルダ監視発行で使用したデータファイルをバックアップすることができます。

基本設定		
監視周期:	1.0 🛟	秒
データファイル :	√ バックアップする	
	保存先:	C:¥ProgramData¥SATO¥MLV5¥MLWatchPrintHistory
	保存期間:	1 🕽 日
詳細設定		

データファイルのバックアップは、監視設定の行毎にフォルダが分かれて保存されます。 (CommonAppData)¥SATO¥MLV5¥MLWatchPrintHistory¥Folder[フォルダー情報一覧の行番号] 例:C:¥ProgramData¥SATO¥MLV5¥MLWatchPrintHistory¥Folder5

ファイル名は「データファイルの解析日時」「データファイル名」から自動的に設定されます。 指定され保存期間が過ぎると自動で削除されます。

5. カットのタイミングを指定する

フォルダ監視発行では、カット動作は1レコード毎にレイアウトの設定に従って行われます。 複数レコードを発行した後にカットする場合は、カット専用のデータ「EjectCut」を指定するか、 ファイル単位カットを指定します。

・1 レコード毎のカット動作

レイアウトファイルの発行時動作設定で、排出カットとカット動作のタイミングで設定します。

#	レイアウトファイル	カット動作
発行[寺動作設定 - その他「排出カットを使用す	ିଷ୍ୟ
1	右动 (チェックあり)	レコード単位にカットします。 任意のタイミングでカットす
I		る場合は、「EjectCut」を利用してください。
2	無効(チェックなし)	下記の発行動作の設定に従います。
発行[寺動作設定 - 発行動作「仕分けマークの印	字、またはカット動作のタイミング」
0	- TA	プリンタの動作モードが連続発行の場合はカットしません。
0		カッタの場合は1枚ごとにカットします。
4	行わない	カットしません。
5	行ごとに行う	レコード単位にカットします。
6	ページごとに行う	
7	該当する項目の値が変わるごとに行う	レコート車位にカットします。 任息のタイミノグ Cカットす
8	発行指示単位ごとに行う	
9	指定した枚数ごとに行う	指定した枚数単位にカットし、端数の最後もカットします。

• EjectCut レコードの使用

データファイル内に「EjectCut」だけのレコードを作成すると任意にカットできます。

「EjectCut」を利用する場合は、レイアウトファイルの排出カットを無効(#2)にし、カット動作を行わない(#4)に設定してください。

データファイルが固定長の場合、「EjectCut」を指定するレコードもレコード桁数までスペースを補填してください。桁数に満たない場合、桁ずれが発生して以降のデータがエラーになります。

"ST312R","19000","490310041310","目黒本店","2"
"PW208","15000","490310841310","目黒本店","1"
EjectCut
"RT308R","9500","490310413108","目黒本店","1"
EjectCut



・ファイル単位にカットする

監視設定の発行動作設定で排出カットを「ファイル単位で実行する」を有効にすることでデータ ファイルの末尾でカットすることができます。

腿 発行動作	?	×
レイアウト発行時の	動作を設定し	ます。
排出カット: 🔽 🕽	アイル単位で	実行する
ОК	キャンち	zル

ファイル単位のカットを利用する場合は、レイアウトファイルの排出カットを無効(#2)にし、 カット動作を行わない(#4)に設定してください。

出力先を「データで指定する」に設定している場合は、データファイルの末尾のレコードで指定 された出力先にのみカットを行います。末尾のレコード以外の出力先にはカットを行いません。

6. 複数のプリンタへ出力する

フォルダ監視発行は複数のプリンタに対して出力する場合、発行データでレコード単位に指定する か、監視条件(ファイル名またはフォルダ)でファイル単位に指定することが可能です。

・1ファイルに複数の出力先を指定する

出力先をデータファイルのレコード単位に自由に指定できるため、複数のプリンタを順番に指定 して、プリンタに効率よく出力することができます。設定方法は「<u>出力先のデータ指定</u>」をご参照 ください。

・1ファイルで1つの出力先を指定する

データファイルのレコード内に出力先を判別するデータを指定できない場合に、監視設定でデー タファイルのファイル名やフォルダを出力先ごとに設定することで、複数のプリンタに出力できま す。

ファイル名で出力先を分ける

5	ォルダー	一覧							
	No.	監視フォルダー		データファイル	レイアウト			出力先	
	1	C:¥sato¥watch	••	PR1*.csv	 固定のレイア…	•	C:¥sato¥layo	SATO CL4NX 203dpi	•
	2	C:¥sato¥watch	••	PR2*.csv	 固定のレイア…	•	C:¥sato¥layo	SATO ST312R	•
1	*					•			•

フォルダで出力先を分ける

フォルダー	一覧					
No.	監視フォルダー	データファイル	レイアウト		出力先	
1	C:¥sato¥watch¥PR1 ··	• *.csv	固定のレイア…・	C:¥sato¥layo	SATO CL4NX 203dpi 🔹	
- 2	C:¥sato¥watch¥PR2 ···	*.csv	固定のレイア…・	C:¥sato¥layo	SATO ST312R ·	
• *			-		•	

発行枚数や発行頻度が高い場合、1 つのデータファイルが処理されている間は、他のプリンタは待機状態になります。速度が求められる場合は「マルチスレッド:使用する」を有効にすると、複数のデータファイルが同時に処理されるようになります。

PR1 001.csv	解析·発行中		PR1_001.csv	解析·発行中
PR2 001.csv	待機		PR2_001.csv	解析·発行中
	在 10%	7	PR3_001.csv	解析·発行中
	1寸1莢	L	<u></u>	

・設定可能なプリンタ台数

1PC に対する推奨プリンタ数は、Plus・Standard・Lite が最大 30 台、Enterprise が最大 50 台です。推奨プリンタ数を超える場合は、処理速度に影響を与える場合がありますのでご注意ください。

		設定可	能台数	
		Plus • Standard • Lite / Enterprise		
テーダファイル	祖廷门法	シングルスレッド	マルチスレッド	
イファノルに復数の山力生な地中オス		30 / 50		
「ノアイルに複数の山力元を指定する		(拡張時)100/500	-	
イファイルでインの山力生た地学する	ファイル	100 / 500	10 / 50	
	フォルダ	100 / 500	10 / 50	

7. フォルダ監視の起動方法を変更する

フォルダ監視発行は Windows サービスとして常駐します。

スタートアップの種類を変更することで、フォルダ監視の起動方法を設定できます。

サービス						
監視対象:	フォルダー	•				
状態:	停止					
操作:	開始(S) 停止(O)		一時停止(U)	再開(<u>M</u>)		
スタートアップの種類:	自動	•	適用(A)			
ログ:	ログ表示(止)			ログレベル:	情報・警告・エラ−	•

スタートアップの種類	設定時の動作		
自動	OS 起動時にフォルダ監視機能を開始します。		
手動	「開始」ボタンを押した時のみ起動します。自動的に開始されません。		
無効	フォルダ監視発行機能を利用しません。「開始」ボタンを押しても起動が できなくなります。		

※OS 起動時に自動的に開始されない場合

Windows Server 2008 R2 で「自動」に設定しても、OS の起動タイミングによって、フォ ルダ監視が開始されないことが確認されています。「自動」で起動に失敗する場合は、コントロー ルパネルから管理ツールーサービスを選択し、「SATO MLV5 MLWatch」のプロパティにて、 スタートアップの種類を「自動(遅延開始)」に変更してください。



8. 発行枚数が未指定のデータを発行する

上位のアプリケーションでデータ内に発行枚数を出力できない場合に、1 レコード毎に 1 枚発行 する機能が利用できます。

・1 レコード 1 枚固定で発行する

レイアウトファイルを ML プリントまたは ML デザインで開き、ファイル形式設定-フィール ド定義で入力項目「発行枚数」の設定を変更します。可変長ファイルの場合は項目番号を「O」、 固定長ファイルの場合は開始位置と終了位置を「O」に設定します。

▶ □ 可変長ファイルフィールド定義							? ×	
可変長ファイルのフィールド定義を設定します。								
ファイル名:¥¥A0004814¥Documents¥SATO¥社員データ.csv								
	No.		区分	入力項目	項目番号	詳細		
	1		行	社員番号	1 🗍	設定範囲:0~4		*
	2		行	氏名	2 🗘	設定範囲:0~4		
	3		行	部署名	3 _	設定範囲:0~4		
X	4		行	発行枚数	0 🗘	設定範囲:0~4		



6: ODBC データ取込み

1. ODBC データ取込みとは

ODBC データ取込みとは、データベースに ODBC 接続し、発行に必要な情報を取得する機能です。既存のデータベースを利用する場合や、データファイルの一部を加工して取り込む場合に有効活用できます。

■準備

予め以下のレイアウトを作成しましょう。



「入力定義」画面に切り替え、行部からヘッダー部に発行枚数を移動します。



2. ODBC ドライバの設定

ODBC 接続で利用するデータファイルと ODBC ドライバを作成しましょう。

ここでは下記の CSV 形式のファイルを例に説明します。 先頭にタイトル行を設けています。 ODBC 接続で項目設定を行う際に利用します。

ファイル名 : 社員データ.csv

保存先 :C:¥sato

▲ 社員データ.csv - メモ帳	-		×	
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V)	ヘルプ(<u>F</u>	L)		
Number,Name,Department 9990,佐藤 太郎,ML本部開発 9991,佐藤 花子,ML本部サポ 9992,佐藤 次郎,ML本部推進	課 (一 ト 詩 [課	The second secon		^
				\sim
<			>	

ODBC ドライバを作成します。

コントロールパネルから「管理ツール」「ODBC データ ソース」を選択します。 (64bitOS の場合は「ODBC データ ソース(32 ビット)」となります。)

「追加」ボタンをクリックします。

ODBC データ ソース アドミニストレーター (32 ビット) ×						
ユーザー DSN システム DSN ファイル DSN ドライバー トレース 接続プール パージョン情報						
ユーザー データ ソース(<u>U</u>):						
名前 プラットフォーム ドライバー	追加(<u>D</u>)					
The second of th	削除(<u>R</u>)					
The second secon	構成(<u>C</u>)					
< >>						
ODBC ユーザー データ ソースには指定されたデータ プロバイダーへの接続方法に関する情報が格納されています。 ー データ ソースは現在のユーザーにのみ認識され、このコンピューターでのみ使用できます。						
OK キャンセル	適用(<u>A</u>) ヘルプ					

「Microsoft Text Driver (*.txt; *.csv)」を選択し、「完了」ボタンをクリックします。



※ODBC ドライバ(Excel、Access)が存在しない場合

MicroSoft の公式サイトからダウンロードしてインストールしてください。 https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=13255 その他の ODBC ドライバは、各メーカーから入手してください。

データソース名に「ODBC 練習」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ODBC テキスト セットアッ	×	
データソース名(<u>N</u>):	ODBC練習	ОК
說明(<u>D</u>):		キャンセル
データベース	へルプ(H)	
フォルダー:	(VV)(<u>II</u>)	
	フォルダーの選択(<u>S</u>)	
☑現在のフォルダーを	オプション(<u>0</u>)>>	
一覧に追加されれば完了です。

🔄 ODBC データ ソース アドミニストレーター (32 ビット)	×
ユーザーDSN システムDSN ファイルDSN ドライバー トレース 接続ブール バージョン情報	
ユーザー データ ソース(<u>U</u>):	
名前 プラットフォーム ドライバー	追加(<u>D</u>)
	削除(<u>R</u>)
DBC練習 32 ビット Microsoft Text Driver (*.txt; *.csv)	構成(⊆)
Tendent and the second decision (res) and	
< >	
ODBC ユーザー データ ソースには指定されたデータ プロバイダーへの接続方法に関す ー データ ソースは現在のユーザーにのみ認識され、このコンピューターでのみ使用できま	る情報が格納されています。ユーザ す。
OK キャンセル	適用(<u>A</u>) ヘルプ

3. ODBC 接続の設定

つぎに ML プリント画面でデータを取り込むための ODBC 接続の設定をしましょう。

MLプリント画面を起動して「ODBC 接続設定」を選択します。

📔 ኰ v 📳 💿 v 🚔 v 후	ODBC練習(レ	イアウト) - SAT	O Multi LABELIST	V5 Enterprise[N	1Lプリント]		-		×
→=ファイル ホーム 編集 表示									â
日の方在 日の方 日の 日の	- データ ファイル	QDBC 先	▲ ▲▲ ▶▶ tig 前 次	▶ ペーシ 末尾	<i>≯</i> : 1 ∕0	2000年 発行動作 F	A 御字設定 号	25 連番設定	
発行	データ		DDBCから呼び出し DDBCからデータを呼び	%#+1.≠₹			設定		
社員番号 部署名	氏名		DDBC接続設定… DDBCの接続を設定	します。	付: 201	7/10/10)		∓ × - [_]
					6 66 61				
	▶ 標準(100%) 1	100% 🕀		ページ:0/0			100% 🗩	2	+
◎ データー覧 📄 ログ出力 🕞 エラー一覧									
F1: ヘルノ F2: 開く F3: 次を検 F	-4: 発行 F5: ブレ	/ĽI- F6: 7	「ータ F/: ファイ)	V F8: 一覧 +	F9: 次の^ ナトープリンタ	F10: 連番 SG412R-ex	… F11:重	Л1′F F −名 作	12: 終了

「接続」ボタンをクリックします。

🔚 ODBC	_姜 続設定							?	×
ODBCの接続	売を設定し	します。							
オプション	设定								*
フィールド	刮文字:	• •	Excel	取込み(<u>E</u>)				_	
データソース	(名:						接続(<u>C</u>)	SQL表	ī.(<u>S</u>)
テーブル名	:								-
No.	区分	入力項目	フィールド名						
1	ヘッダ	社員番号							*
2		部署名							- 1
3	<u>\\99</u>	氏名							- 1
									*
取り込み ③ すべて	対象 [のデータ () 抽出条件	を指定: AN	ID条件	~				
No.	フィールト	名 種類	比較条件 日	と較対象 比較デー	-9			追加(A)	
*							×	削除(D)	
								上へ移動(
							~	下へ移動(<u>W</u>)
自動呼び	「出し設定								
□ データ	入力後に	自動でODB	Cを呼び出す(<u>R</u>) 入力項目名:			~		
						_			
							ОК	キャンセ	N

「コンピューター データ ソース」の「ODBC 練習」を選択し、「OK」 ボタンをクリックします。

データソースの選択				×
ファイル データ ソース コンピューター データ	ע י			
データ ソース名	種類	説明		
	- 4			
ODBC 練習	1-9-			
				新規作成
	18 5 1-4			
コンピューター テーダ ソースはこのコン ースはこのコンピューターの一人のユー	ビューターにの ・ザーが使用す	りか週用で できます。	システム データン システム データン	せん。ユーサー テー
のユーザーとネットリークで接続されて	いるユーサー	か1史用 (*	さまり。	
	ОК		キャンセル	ヘルプ

データファイル「社員データ.csv」を保存したフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

フォルダーの選択			×
ファイル名(<u>N</u>): _*.asc:*.csv:*.tab;*.txt	フォルダー(<u>F</u>): c:¥sato		ОК
社員データ.csv	 C:¥ m sato 		キャンセル
~		~	
ファイルの種類(<u>T</u>): Text ファイル (*.asc;*.csv;* ▼	ドライブ(<u>V</u>): ■ c: Windows	•	ネットワーク(<u>W</u>)

リストにデータファイル「社員データ.csv」が表示されます。

Pa	ODBO	[接影	設定										?	×	
OD	DBCの接続を設定します。														
1	オブション設定 🔦														
	フィール1	話り	文字:	• •	Excel®	ĸ込み(₤)									
7	データソース名: ODBC練習 接続(<u>C</u>) SQL表示(<u>S</u>)														
Ī	ーブル	名:	社	員データ.csv										•	
	No.		区分	入力項目	フィールド名									_	
•	1		ヘッダ	社員番号	•									•	
	2		ヘッダ	部署名	•										
	3		ヘッダ	氏名	•										
	4		ヘッダ	発行枚数	•										

入力項目と関連付けるフィールド名を指定します。

(フィールド名はデータファイルのタイトル行が自動で取得されます。)

レイアウトファイルの入力項目名	データファイルのフィールド名
社員番号	Number
部署名	Department
氏名	Name

P ODBC接続設定	?	×							
ODBCの接続を設定します。									
オプション設定									
フィールド括り文字: ··· Excel取込み(E)									
データソース名: ODBC練習 接続(<u>C</u>)	SQL表	<u>क्त(S)</u>							
テーブル名: 社員データ.csv		•							
No. 区分 入力項目 フィールド名									
1 ヘッダ 社員番号 Number 🔹									
2 ヘッダ 部署名 Department ▼									
3 <u>ヘッダ</u> 氏名 Name ・									
▶ 4 <u>ヘッダ</u> 発行枚数 ▼									

抽出条件を指定して、「OK」ボタンをクリックします。

• 抽出条件

入力した社員番号に該当するデータ(部署名と氏名)を取得する場合

フィールド名	: Number
種類	:数値
比較条件	:=
比較対象	:入力項目
比較データ	:社員番号

Par ODBC接続設定	? ×							
ODBCの接続を設定します。								
オプション設定	*							
フィールド括り文字: " ▼ Excel取込み(E)								
データソース名: ODBC練習 接続(<u>C</u>) SQL表示(<u>S</u>)								
テーブル名: 社員データ.csv								
No. 区分 入力項目 フィールド名								
1 🔽 🔨 시ッグ 社員番号 Number 🔻								
2 ヘッダ 部署名 Department マ								
3 <u>ヘッダ</u> 氏名 Name ・								
 ▶ 4 <u>ヘッダ</u>発行枚数 ▼ 								
	Ŧ							
取り込み対象								
◎ すべてのデータ ● 抽出条件を指定: AND条件 ▼								
No. フィールド名 種類 比較条件 比較対象 比較データ	追加(<u>A</u>)							
▶ 1 Number ▼ 数値 ▼ = ▼ 入力項目 ▼ 社員番号 ▼								
* • •								
	上へ移動(<u>U</u>)							
	下へ移動(W)							
自動呼び出し設定								
データ入力後に自動でODBCを呼び出す(R) 入力項目名:	r							
	キャンセル							

4. ODBC からの呼び出し

では、実際に ML プリント画面で ODBC 接続でデータを呼び出してみましょう。

社員番号に「9990」を入力し、「ODBC」ボタンをクリックします。

P 📄	- 💼 💿 - 🕻	• =		ODBC練習(し	/イアウト) - SAT	FO Multi L	LABELIS	T V5 Er	nterprise	e[MLプリ	ント]		_		×
-1= 774	ル ホーム	編集	表示			_									â
一 出力先	王 発行開始 発	 発行中止 行 	レビュ -	פי פריי דיר פ-די די	и Право Прес -9	 ◀ 先頭	↓	》 次	末尾ページ	ページ:	1 /1	派 発行動作	▲ 印字設定 設定	25 連番設)	Ē
社員番 9990	号 部署名		đ	名		発行材	枚数	≣ 基)] 付: ^{-ビュ}	2017,	/10/11		•	₽ × ₽ ×

社員データ.CSV から社員番号が「9990」の部署と氏名を呼び出すことができました。

📔 🛅 • 📳 🚳 • 🚔 • 💷	】 📄 ▼ 💼 💿 ▼ 📄 ▼ 〒 │ ODBC練習(レイアウト) - SATO Multi LABELIST V5 Enterprise[MLプリント] — □ X									
	表示				۵					
田力先 名行開始 発行中止 日本 日本	ブレビュー シー シー シー シー ブレビュー データ ファイル ODBC	先頭 前 次	▶ 末尾 1 /1	2000 年 発行動作 印字設定	25 連番設定					
発行	データ		ージ 19	設定						
社員番号 部著名 9990 ML本部開発課	氏名 佐藤 太郎	光行枚数 5 3	準日付: 2017,	/10/11	•					
			印刷プレビュー	_	∓×					

<u>以上で「6:ODBC データ取込み」は終了です。</u>

さらに ODBC データ呼び出しの機能を使いこなす場合は、「知っておくと便利な機能」をご参照 ください。

知っておくと便利な機能

ODBC データ取込みで知っておくと便利な機能を紹介します。

1. 自動で ODBC データ呼び出しを行う

抽出条件を指定している場合に、特定の入力項目の入力が完了したら、自動的に ODBC データ呼び出しを実行する機能があります。「ODBC」アイコンを押す1 手間を減らすことが可能です。

ODBC 接続設定の「自動呼び出し設定」を有効にし、連動させる入力項目を指定します。

Par ODBC接続設定	? ×
ODBCの接続を設定します。	
オプション設定	*
フィールド括り文字: " ▼ Excel取込み(E)	
データソース名: ODBC練習 接続(C)	SQL表示(S)
テーブル名: 社員データ.csv	•
No. 区分 入力項目 フィールド名	
▶ 1 ハッダ 社員番号 Number ▼	•
2 <u>ヘッグ</u> 部署名 Depart ▼	
3 <u>ヘッダ</u> 氏名 Name ▼	_
4 八99 免门权数 •	
	•
 - 取り込み対示 ● すべてのデータ ● 抽出条件を指定: AND条件 ▼ 	
No. フィールド名 種類 比較条件 比較対象 比較データ	治力(A)
1 Num マ マ = マ 入 マ 社員 マ	
* • •	削除(D)
L L	:へ移動(<u>U</u>)
न ,	へ移動(W)
自動呼び出し設定	
√ データ入力後に自動でODBCを呼び出す(R)入力項目名: 社員番号 ▼	
OK]

入力をEnterキーで完了すると、自動的にODBCデータ呼び出しが実行されて、データが反映されます。







2. ODBC 接続でデータを全件取り込む

ODBC 接続設定で抽出条件を指定していない場合は、「ODBC」アイコンを押すだけで全件取り込むことができます。

抽出条件を指定している場合に、全件取込みを行うには ODBC 接続設定の「取り込み対象」で抽出条件を種類「文字」、比較条件「like」に設定します。

Par ODBC接続設定	? ×
ODBCの接続を設定します。	
オプション設定	*
フィールド括り文字: " ▼ Excel取込み(<u>E</u>)	
データソース名: ODBC練習	続(<u>C</u>) SQL表示(<u>S</u>)
テーブル名: 社員データ.csv	•
No. 区分 入力項目 フィールド名	
▶ 1 <u>◇ ヘッダ</u> 社員番号 Number ▼	^
2 ヘッダ 部署名 Depart ▼	
3 ハック 氏石 Name * 4 ハッグ 発行対数 *	
	*
取り込み対象	
◎ すべてのデータ ◎ 抽出条件を指定: AND条件 ▼	
No. フィールド名 種類 比較条件 比較対象 比較データ	追加(<u>A</u>)
▶ 1 Number ▼ 文字 ▼ like ▼ 入力項目 ▼ 社員番号 ▼	
	上へ移動(U)
	T . 12 51 04.0
	▼ 「八移動(W)
自動呼び出し設定	
□ データ入力後に自動でODBCを呼び出す(R) 入力項目名:	Ŧ
0	K キャンセル

発行画面で比較データの入力項目に「%」を入力することで、全件取込みが可能です。



ODBC データ取込みを実行すると…



データファイルのレコード毎にページに分割されて取り込まれます。

行部が存在するレイアウトの場合は、ヘッダ情報が共通するデータは1ページにまとめられます。



3. 取込むデータを加工する

複数のフィールドに存在するデータを1つの入力項目に取り込むなどデータの加工は、SQL文を 変更することで実現できます。

対象データに「Year」「Month」「Day」のフィールドが存在し、入力項目「日付」に加工した データを取り込む場合を例に説明します。



ODBC 接続設定で、入力項目「日付」にフィールド名「Data」を入力し、「SQL 表示」ボタンをクリックします。

P. ODBC接続設定	?	\times
ODBCの接続を設定します。		
オプション設定		*
フィールド括り文字: " ・ Excel取込み(E)		
データソース名: ODBC練習 接続(<u>C</u>)	SQL表	示(<u>S</u>)
テーブル名: 日時データ.csv		•
No. 区分 入力項目 フィールド名		
✓ 1 ヘッダ 日付 Data ▼		•
2 ヘッダ 発行枚数 ・		_

SQL 文で SELECT と FROM の間に下記の値を入力します。

"Year" & '/' & "Month" & '/' & "Day" AS "Data"

Page SQL表示		?	×
[ODBC接続設定]ダイアログの設定をSQL文で表示・変更します。			
データソース名: ODBC練習	項目名表示(<u>N</u>)	テスト実行	D1
SELECT "Year" & '/' & "Month" & '/' & "Day" AS "Data" TNONI 日時データ.csv			

書式	内容
″(フィールド名)″	取り込み対象のフィールド名を指定します。
(A) & (B)	文字列を結合します。
'(固定值)'	固定値を入力します。
(A) AS (B)	(A)の値を(B)として扱います。

上記の SQL 文は「Year」「Month」「Day」から取得したデータを「/」で連結して、フィール ド名「Data」として扱うという意味になります。

「テスト実行」を押して、日付が取り込めれば設定完了です。

💦 SQL表示	?	×
[ODBC接続設定]ダイアログの設定をSQL文で表示・変更します。		
データソース名: ODBC練習 項目名表示(<u>N</u>)	テスト実行	Ū
SELECT "Year" & '/' & "Month" & '/' & "Day" AS "Data" FROM 日時データ.csv		
テスト実行結果:SQL文の実行結果を最大で3レコード表示します。		
No. 日付 ¹ 行枚数		
1 2017/10/1		
2 2013/3/1		
SQL文が変更されています。OKボタンを押すと設定したSQLで抽出します。		v
OK	キャンセノ	IL